

⑤ 花とグリーンの効果効用の啓発 と花店の環境アクション

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

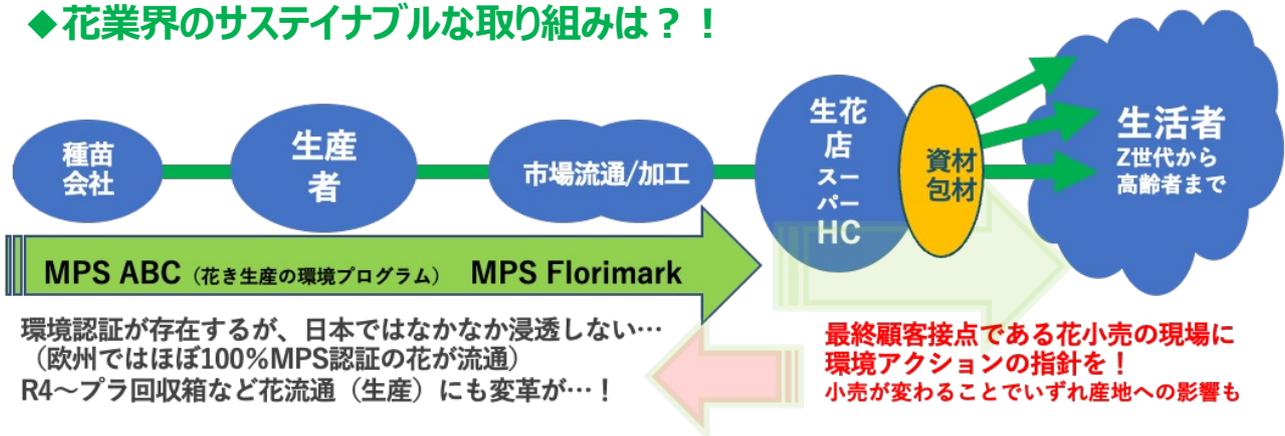
◆はじめに

花卉の国際動向は
「**サステイナブル** (Sustainable: 持続可能な)」と
「**ウェルビーイング** (Well-being: 世界中の人々が心身および
社会的にも健康で幸せな人間になる)」
という2つの言葉に要約される。

国連が提唱し、2030年までに達成する持続可能な17の開発目標＝
SDGs (Sustainable Development Goals) の2つの骨子でもある。
そしてこの2つの言葉が、アフター・コロナの社会で、日本および
世界中に「花のある幸せなライフスタイル」を広げるカギとなる。

海下 展也 氏より 農業技術体系2022(花卉編)
「花きの国際動向と日本の対応」

◆花業界のサステイナブルな取り組みは？！



植物そのものが「**ウェルビーイング**」に貢献する素晴らしい存在
(Well-being: 世界中の人々が心身および社会的にも健康で幸せな人間になる)

一方で「**サステイナブル**」な行動が伴わなければ支持されなくなる
(Sustainable: 持続可能な) 遅れている花業界、もっと危機感を！／行動と協業で改善

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

参照

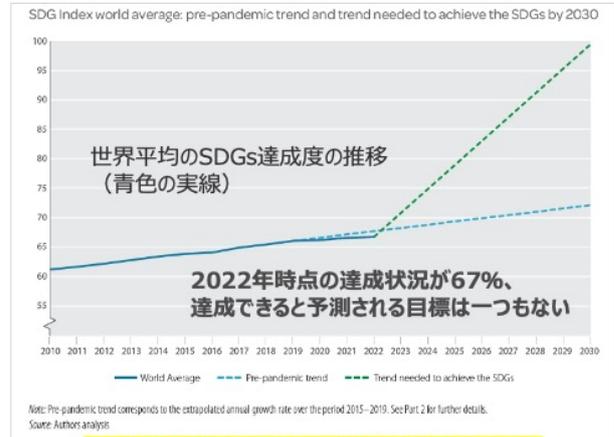
SDGsは2016～2030年の15年間を対象、
2023年は「折り返し」の年に！



持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)



出典：国際連合広報センターHP



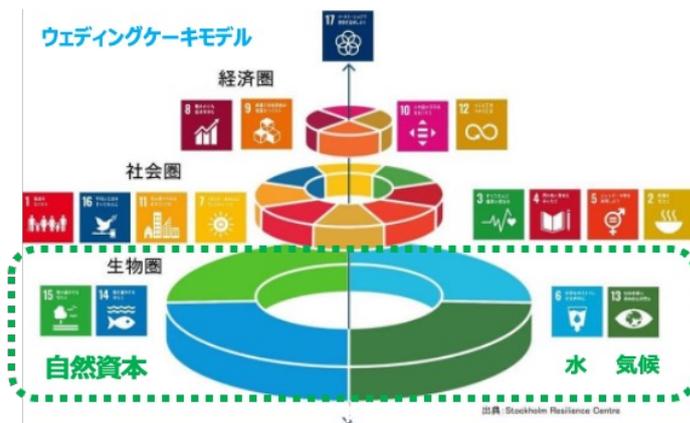
折り返しの年だが「著しく軌道を外れている」

出典：Sustainable Development Report 2023 p.5

国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」(SDSN)は6月21日、世界各国のSDGsの達成度を評価した「Sustainable Development Report」(持続可能な開発報告書)の2023年版を発表した。日本のSDGs達成度は166カ国中**21位**で、前年(163カ国中19位)から2ランク下がった。17の目標のうち、**ジェンダー平等や気候変動対策など5つの目標が「最低評価」**。

生物圏/自然資本の健全性が
人間社会・経済活動の持続可能性の土台に

私たち人の生活は、自然からの恵み
(生態系サービス)に依存している



ネイチャーポジティブ

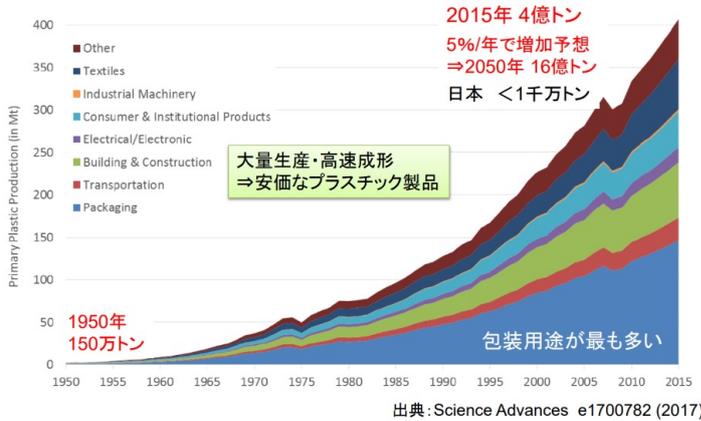
近年、自然資本 (natural capital) の考え方が注目され、森林、土壌、水、大気、生物資源など自然によって形成される資本に対する、サプライチェーンを通じた影響を回避、再興していく取組が展開されている。



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

参照

プラスチックの生産量の推移



OECD発表「グローバル・プラスチック・アウト
ルック2022」によると、世界のプラスチック廃
棄物は、2000年から2019年の20年で2
倍以上に増加。内、リサイクルされているのは
わずか9%で、多くは焼却または埋め立てさ
れている。またプラスチック廃棄物の約2/3
は、容器包装、消費財、テキスタイルなど製
品寿命の短いプラスチック。

鉄の生産量 3億トン(1961年)⇒9億トン(2001年)⇒18億トン(2018年)

プラスチック汚染に関する国際条約策定・欧州における循環型包装の義務化の動き

2022年第5回国連環境総会において、「プラスチック汚染を終わらせる：法的拘束力のある国際約束に向けて」が採択。2024年末までに国際文書（条約）の策定作業完了を目指す。

欧州では、全てのパッケージがリサイクル可能で、かつ再生材料を配合あるいは100%使用することを義務付ける動き～特に食品包装では、再生プラスチックをある認定条件のもとで利用義務化するなど、具体的な数値が規則として制定されようとしている。

世界の包装業界にも、この動きは拡大すると予測され、日本でもいつまでも100%石油由来包装を使い続けることは難しくなる。WPO（世界包装機構）はPackaging Design for Recycling Guideを作成、世界の包装業界にリサイクル推進を要請。

資源循環の高度化に向けた環境整備・サーキュラーエコノミーへの移行を加速

プラスチック資源循環促進法（2022年）

プラスチックのライフサイクル全般での "3R+Renewable"を進める個別の措置

プラスチックのライフサイクル全般での"3R+Renewable（リデュース/ごみの発生抑制、リユース/再利用、リサイクル/再生利用、Renewable/再生素材や再生可能資源への切り替え）"

設計・製造	<p>リデュース 解体しやすい 素材代替</p>	<p>環境配慮設計への転換 環境配慮設計に適合した国の認定製品を、消費者が選択できる社会へ</p>
販売・提供	<p>使い捨てプラのリデュース</p>	<p>使い捨てプラのリデュース 小売・事業者などによる使い捨てプラ使用を合理化、消費者のライフスタイル変革を加速化</p>
排出・回収・リサイクル	<p>あらゆるプラの効率的な回収・リサイクル</p>	<p>あらゆるプラの効率的な回収・リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村の分別収集・再商品化 製造・販売事業者による自主回収 排出事業者による排出抑制・再資源化

出典：環境省

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

参照

容器包装リサイクルについて



容り法制定の背景

- 家庭ごみの割合

容器包装以外 39.4%

60.6%*が**容器包装**

* 容積比
平成7(1995)年度・厚生省調べ

容り法の制定当時、①一般廃棄物の埋立地(最終処分場)は7~9年で溢れてしまう状況、②家庭ごみのうち容器包装が約60%(容積比)と高い割合を占めていたといった背景があり、平成7(1995)年に容り法が制定されました。

対象となる「容器」「包装」

- 再商品化義務の対象となる「容器」「包装」

ガラスびん 無色、茶色、その他の色のガラスびん	PETボトル 食品(特定調味料 ^{※1} 、乳飲料等 ^{※2})、清涼飲料、酒類用	紙製容器包装	プラスチック製容器包装 PETボトルを除く
-----------------------------------	--	---------------	---------------------------------

※1 しょうゆ、しょうゆ加工品(めんつゆ等)、みりん風調味料、食酢、調味酢、ドレッシングタイプ調味料(ノンオイル)
※2 ドリンクタイプのはっ酵乳、乳酸菌飲料、乳飲料

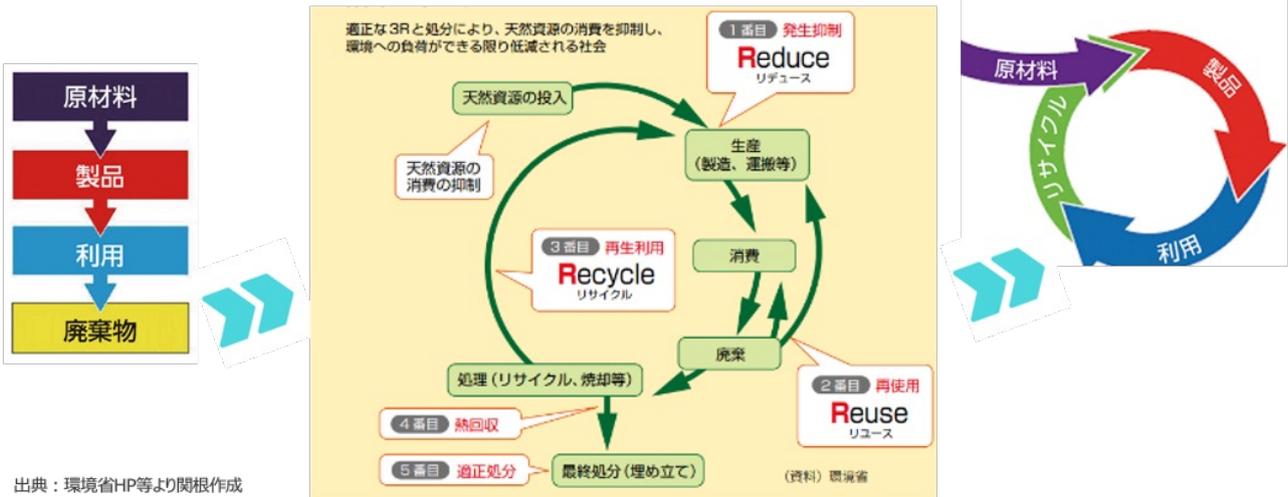
容り法で特定事業者に再商品化の義務を課しているのは上記の4品目になります。

出典：容器包装リサイクル協会



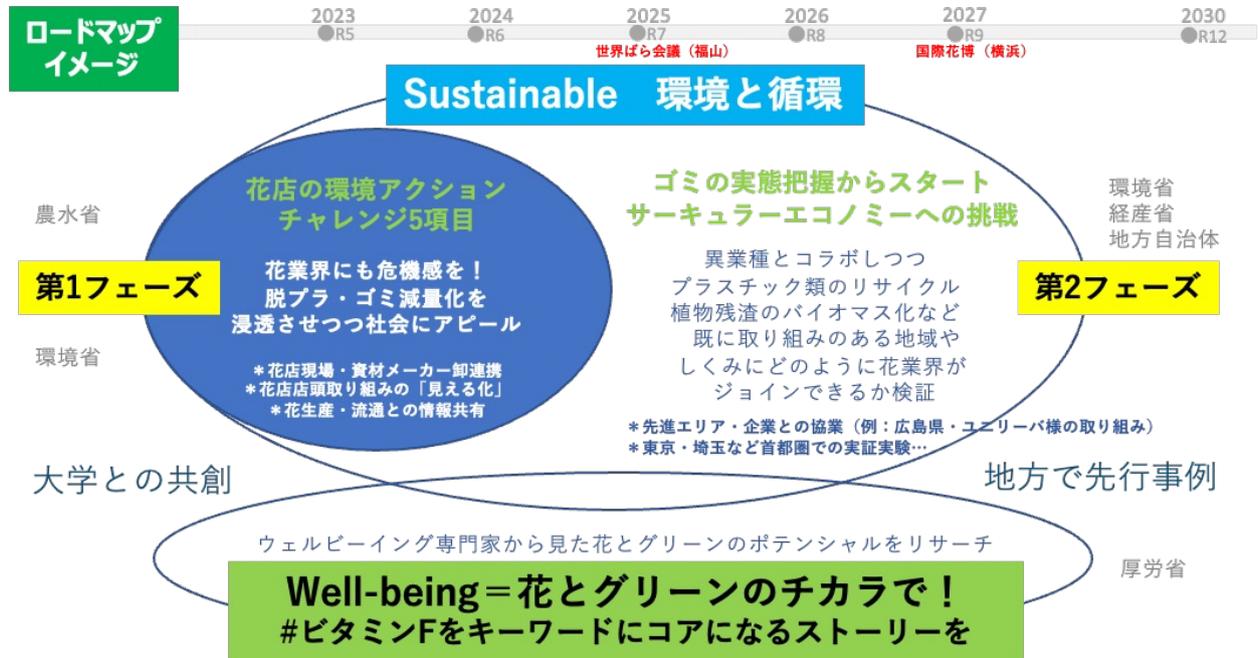
リニア・エコミー（線形経済）からサーキュラー・エコミー(循環型経済)への移行！

「大量生産・大量消費・大量廃棄」を基本とする従来の「線形経済」に代わり、製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した循環型で持続可能な経済活動。

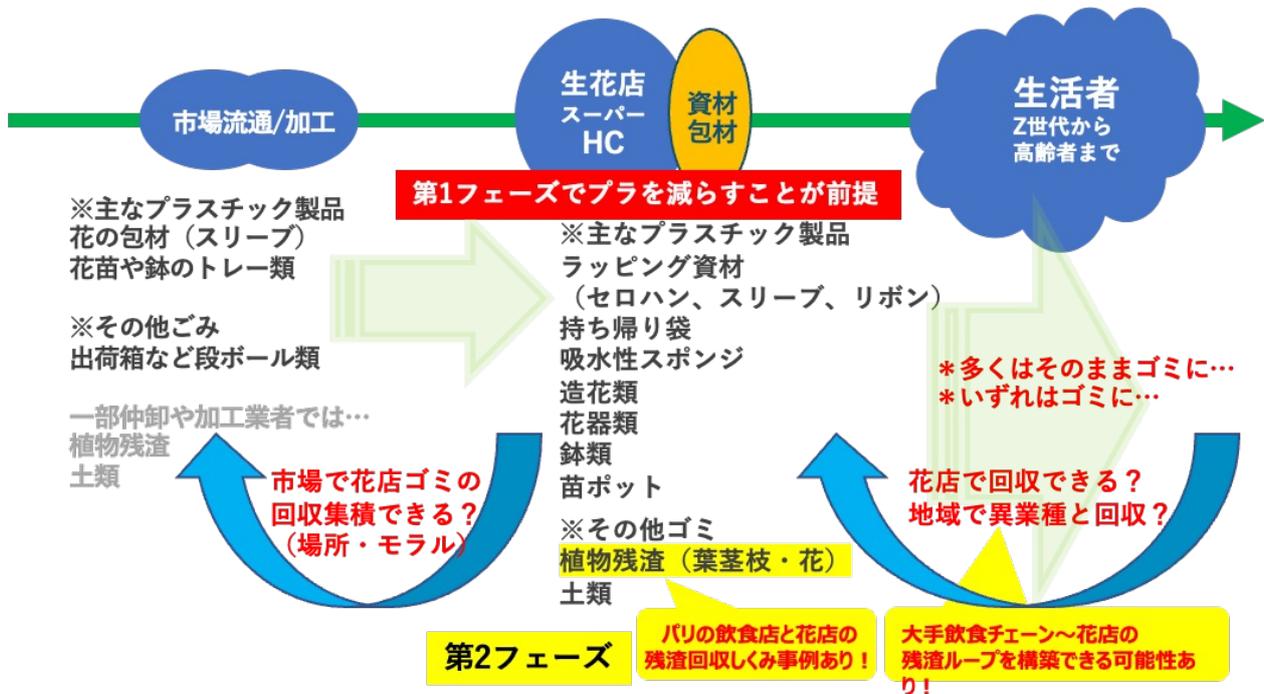


⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆事業のロードマップイメージ

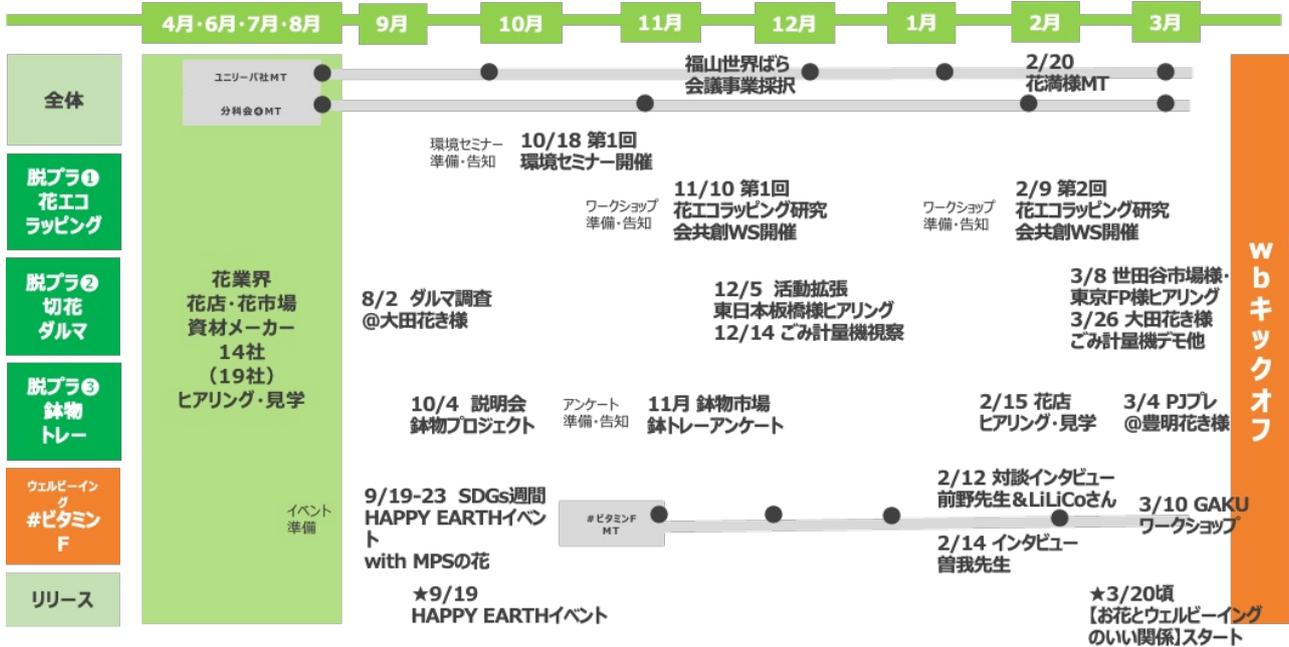


◆ごみ（資源）を循環させるには？



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション活動カレンダー



◆資材メーカー・卸中心に脱プラスチックに向けた各社様ヒアリング

(環境カウンセラー/カムフル関根さん・井上さん、国需協十川さんご同行)

- 4月13日 豊明花き様 ※3/4再訪
- 5月26日 スミザースオアシスジャパン様
- 6月 1日 シモジマ様
- 6月 8日 東京堂様、東京リボン様
- 6月12日 松村工芸様、青山フラワーマーケット様
- 6月14日 インパック様、(一橋大学授業)
- 6月16日 大田花き様 ※8/2再訪、12/1・2/20Zoom
- 7月11日 FAJ様、クリザールジャパン様
- 7月13日 日比谷花壇様
- 8月14日 青山フラワーマーケットパリ店様
- 8月28日 はなも様(店頭・加工場)・ヌボー生花店様
- 12月5日 東日本板橋花き様
- 2月15日 花武様
- 2月20日 花満様 (Zoom)
- 3月8日 世田谷花き様、東京フラワーポート様

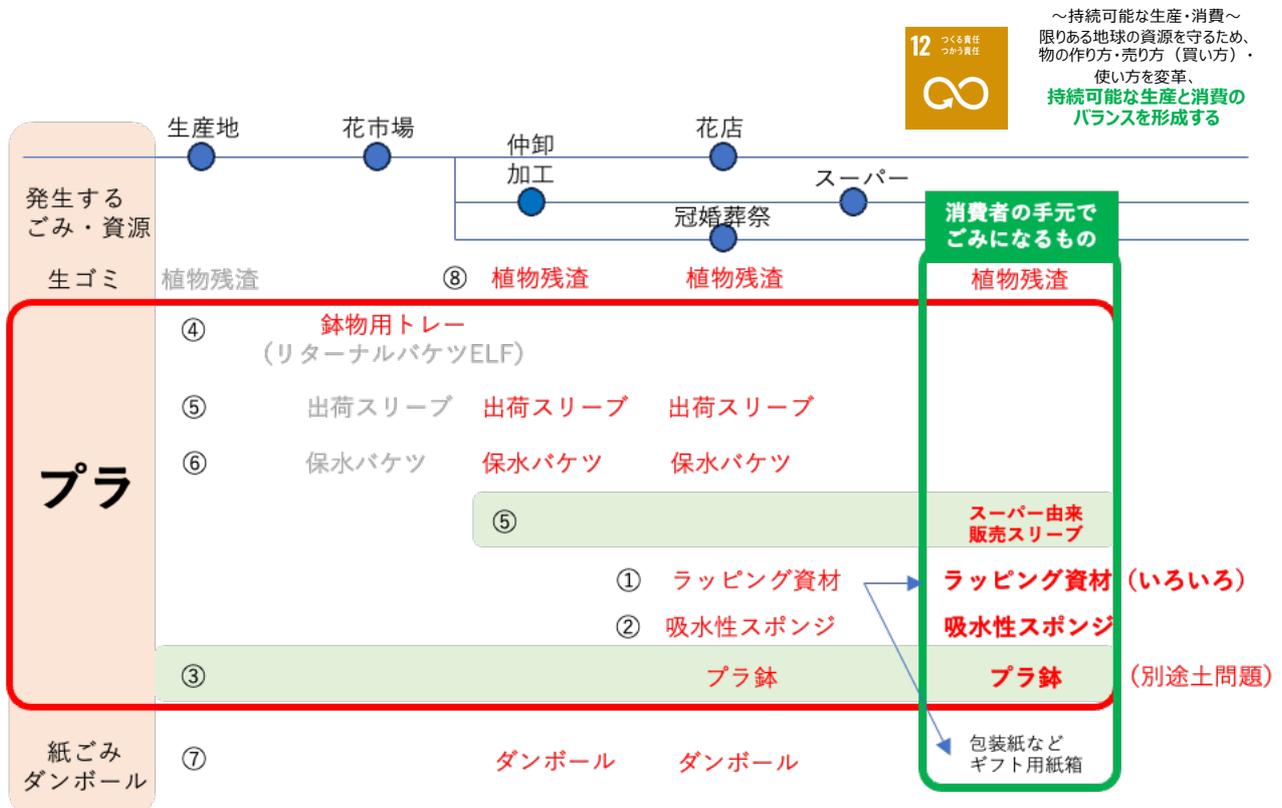
8月末
課題別分科会の提案へ※

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆花市場における排出プラスチックごみ、花店店頭のパラ製品やごみの様子

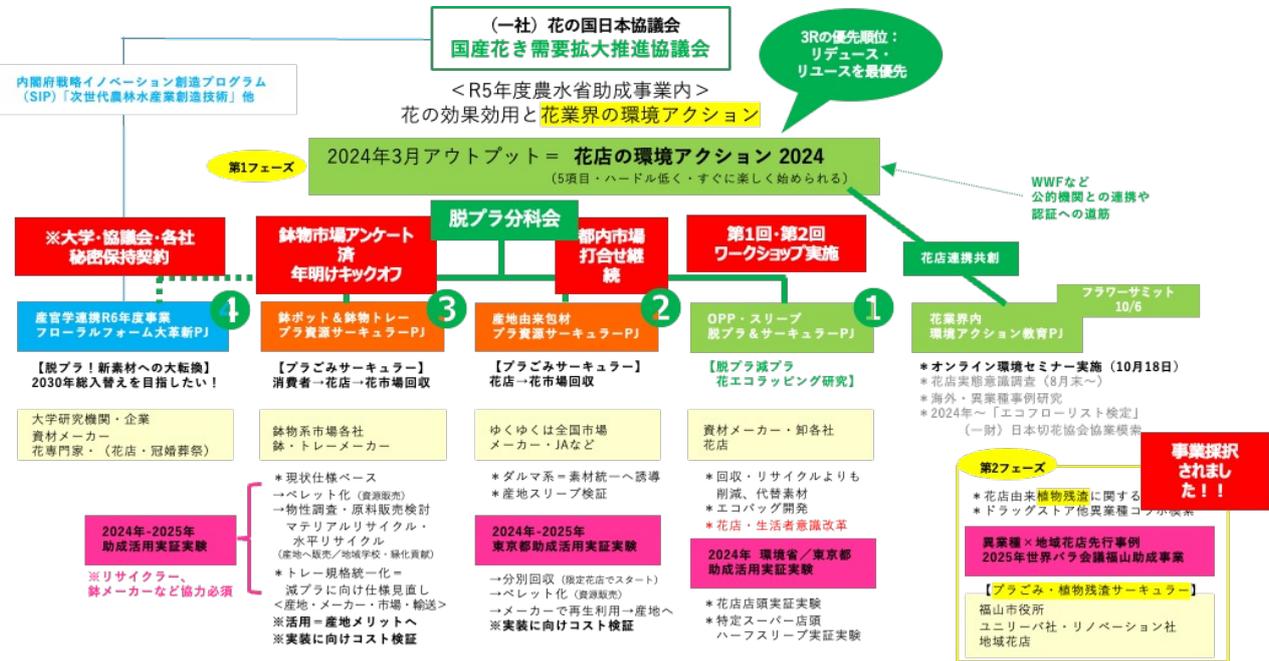


◆商流の中で出るプラスチックごみと消費者の手元でごみになるもの



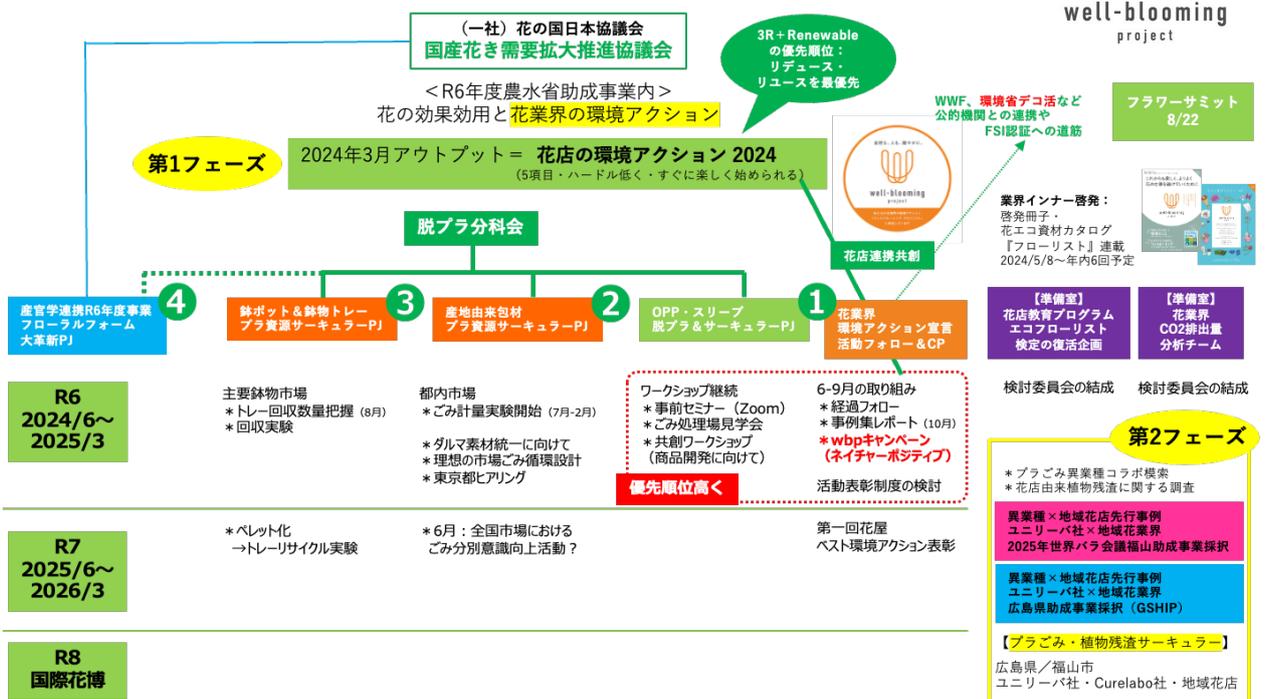
⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆4つの脱プラ分科会立ち上げ



R6年度へ

◆R6年度 4つの脱プラ分科会推進+新規準備室



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆第1回花業界環境セミナー開催



Zoom開催です!

10/18 (水) 19:00 スタート
~20:30 終了予定

超入門

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 12 13 14 17

第1回 花業界環境セミナー

花業界のよりよい未来のために
今知っておきたい環境のはなし

「脱プラスチック」「サーキュラーエコノミー(循環経済)」の動きが日本でも加速しています。皆さまのビジネスのまわりにある「プラスチック」について一緒に考えてみませんか? 持続可能な資源の利用に向けて、花業界の皆で取り組んでいく最初の一步を踏み出しましょう!

事前申込みが必須です! (参加費無料)
10/18 (水) 正午までに、下記エントリーフォームに入力してください (QRコードからでもOK)

<https://forms.gle/4uWyUHiuUi5FhHJf9>

18日15時頃、ご登録のメールアドレスに【Zoom URL】をお知らせいたします。また、セミナー後のアンケート回答にご協力お願いいたします。

講師: 環境カウンセラー 関根 久仁子氏

カムフル株式会社代表取締役/環境経営士/森林インストラクター
東京サーキュラーエコノミー推進センター・アドバイザー

スターバックスで約12年間環境担当。コーヒー豆かすリサイクルループ(大臣認定)等3R、環境配慮店舗、倫理的な調達、環境教育等を推進。2020年に独立、企業や自治体などのSDGs・環境の活動支援、FSC認証木材普及等に取り組んでいる。第4回環境カウンセラー環境保全活動表彰/循環型社会貢献賞(事業者部門)受賞。サーキュラーエコノミー実践に向けて、2023年2月カムフル株式会社を創業。2023年4月より一橋大学非常勤講師(担当教科:環境科学)。国産花き需要拡大推進協議会令和5年度企画検討委員。

一般社団法人花の国日本協議会 | 国産花き需要拡大推進協議会
お問合せメールアドレス: info@hananokuni.jp (小川・十川)

「花業界のよりよい未来のために今知っておきたい環境のはなし」

10/18 (水) 19:00~ (Zoom/参加費無料)

講師: 環境カウンセラー・カムフル 関根 久仁子さん

告知開始 (9/27~)

事前エントリー 152名/約80名がリアルタイム参加

事前エントリー者には、録画・資料公開

花エコラッピング研究会第1回共創ワークショップ参加お誘い

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆関根久仁子先生 セミナー資料

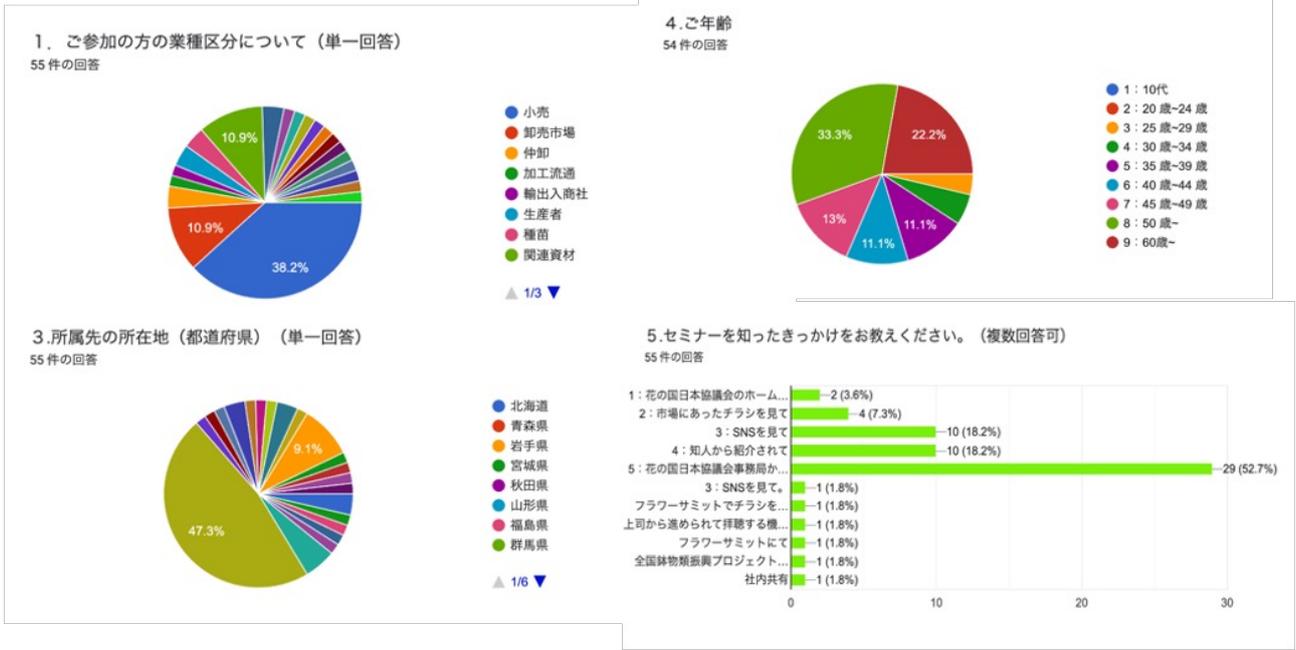


1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66
67	68	69	70	71	72
73	74	75	76	77	78
79	80	81	82	83	84
85	86	87	88	89	

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆第1回花業界環境セミナー参加者アンケート結果

回答者属性・認知経路



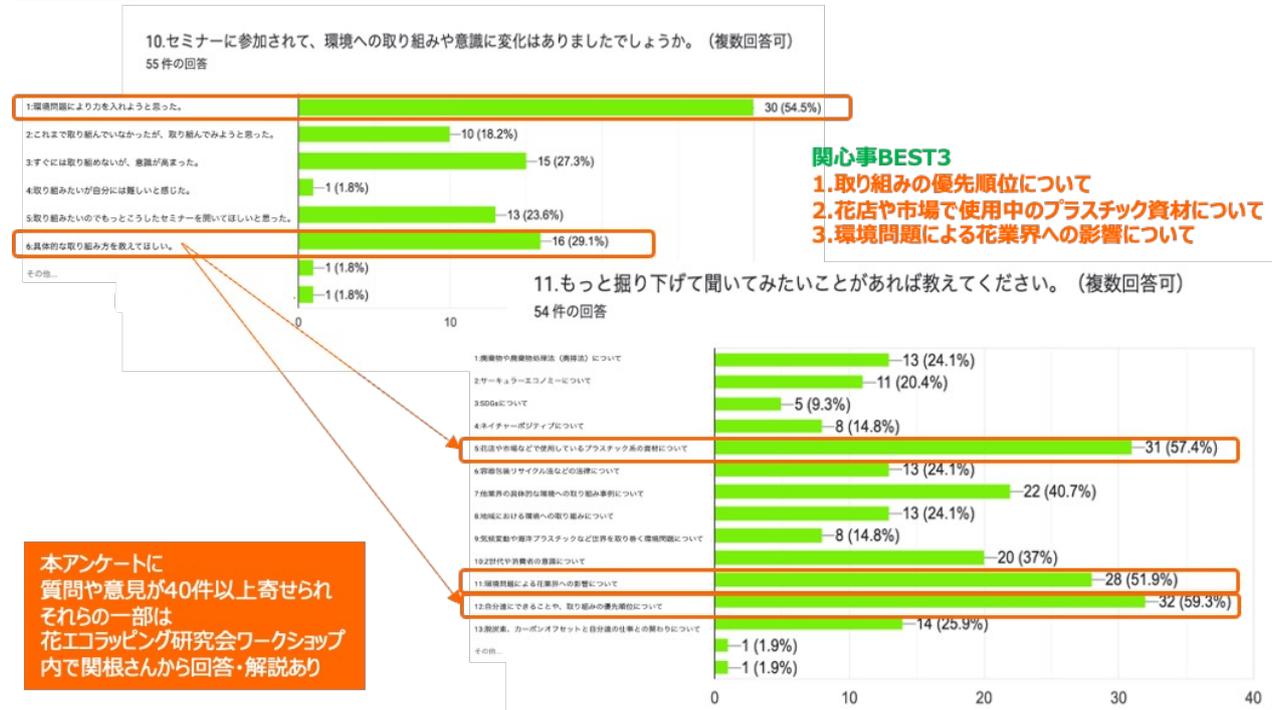
セミナー理解度・満足度



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆第1回花業界環境セミナー参加者アンケート結果（続き）

環境意識変化・もっと学びたいこと



12. 環境について、今回のセミナーについて、ご質問ありましたら教えてください。（自由回答）
13件の回答

培養土廃棄についての現状と課題

環境側面は見方によって変わると思われるので、色々な角度から色々な意見がある事を教えて頂くより良かったかと思えます。

花苗のビニールポットはどの様にしたいのでしょうか？

事例についてや、資料の共有は可能ですか？

花業界で取り組むべき優先度や「持続可能」とした時に関連する投資活動の負担、内容によっては長く使える視点からエコとの判断もあり、インフラについても触れていただきたい。

30年以上前から交流のある海外（ドイツ・オランダ・スイス）のフラワーアーティストが、当時既に環境問題として吸水フォームを使わないデザインやセロハンを使わないシュトラウスのデザインを訴求しておられて、環境に対する彼らの意識の高さを感じていました。一方でギフトフラワーをメインとしている弊社では、プラスチック資材の削減ができないか模索をしながらも、見映えと花の保護の観点から顧客のニーズとのバランスに長年悩んで来ました。今の2世代と呼ばれる若年層の環境に対する意識の高さや、又社会全体のライフスタイルが変わることで新たな価値観が生まれることに期待しています。環境問題に取り組みされている資材の会社、又は花き関連資材を主に扱われている会社の事例などもお知らせ頂けると有難いです。

開始時間が遅いため基本業務内ではできなかつたです。皆さんがそろう時間なので致し方ないですが・・・

環境問題は皆大事と頭では理解していても、目の前の経済合理性を優先しがちのような気がします。そこを超えていくにはどうしたらいいのか？具体的なお考えはありますか？

質問も多数寄せられた

この度は、女性の方々がパワーポイントで分かり易く解説していただき誠にありがとうございました。但し、今後、進めて頂くにあたり、商品・資材・保管・配送・加工等のそれぞれ花に関連した環境について随時説明していただければ幸いです。

鉢物苗物生産者なのですが近年、寄せ植えの受注が増えています。毎年何千万というプランターや鉢を出荷しているのですが、それらが最終的にはプラごみになるかと思うのが痛みます。また、咲き終わった後の培土の処分も気になります。私の住む自治体では土はゴミとして出せません。土を捨てられるような庭がある家庭ばかりではないと思うので、この先土の処分に困るから花を植えない、という人も出てくるかと思えます。培土の処分、回収などの事例があれば知りたいです。

花業界(特に花の小売り)において、関根先生から見た「これはいらぬのでは？代替えが可能なのでは？」と感じるものをお聞きしたいです。(流通で使われる専門的なもの以外にも、ギフトの過剰包装等についてもお聞きしたいです)

フローラルフォームの具体的な廃棄方法

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

脱プラ分科会① 脱プラ減プラ花エコラッピング研究

◆花エコラッピング研究会 第1回 共創ワークショップ概要

目的	花のラッピング（容器包装）のこれからの環境アクションについて、課題の共有と協議
内容	花のラッピング（容器包装）資材のサーキュラーデザインやお客様への啓発・コミュニケーション方法について 一社ではなかなか解決できない課題について、課題の整理とグループワークを通じた議論を行い、よりよい未来に向けた共創の糸口を探る。

第1回 開催日時：2023年11月10日（金）18:30～20:40頃
 開催場所：大手町 3×3Lab Future
 参加企業：15社+カムフル・国需協
 参加人数：26名（1名欠席）
 ゲスト：東京都環境公社、エコツツエリア協会



第1回 参加企業・参加者リスト

	後半グループ				
ゲスト	B	小川 潤	東京都環境公社	東京サーキュラーエコノミー推進センター長	行政
	A	森 大地	東京都環境公社	東京サーキュラーエコノミー推進センター 行動変容支援チームリーダー	行政
参加者	E	薄木 健友	(株)花佳	代表取締役	花店
	A	大矢 みな	(株)花茂	代表取締役	花店
	D	藤本 祐矢	(株)ランドフローラ	店舗部 企画担当 MD	花店
	C	藤井 毅	(株)日比谷花壇	リテール事業統括部 執行役員統括部長	花店
	B	大草 久美子	(株)パーク・コーポレーション	商品企画 切花担当（青山フラワーマーケット）	花店
	A	西潟 聡	(株)東京堂	マーケティング統括部企画部マーケティング デザイン担当統括マネージャー	資材メーカー・卸
	B	竹内 要介	松村工芸 (株)	営業部	資材メーカー・卸
	C	佐藤 元一	(株)シモジマ	ビジネスディベロップメント部 部長	資材メーカー・卸
	D	山崎 洋平	(株)シモジマ	DX推進部 特注品サポート課 プロダクトデザインチーム	資材メーカー・卸
	A	仲二見 真司	インバック (株)	専務取締役	資材メーカー
	E	大沼 和実	インバック (株)	東京営業所 所長	資材メーカー
	E	齋藤 英毅	東京リボン (株)	執行役員 クリエイト本部長	資材メーカー
	B	河田 牧子	東京リボン (株)	クリエイト本部 商品開発課 主任	資材メーカー
	D	道田 隆	スミザースオアシス ジャパン (株)	代表取締役社長	資材メーカー
	E	寺家 依子	スミザースオアシス ジャパン (株)	マーケティングディレクター	資材メーカー
	C	田中 邦明	松村アクア (株)	工場長	資材メーカー
B	海下 展也	クリザール・ジャパン (株)	取締役副会長	資材メーカー	
C	春野 博子	春野 博子	華道家・フラワーセラピスト		
D	安藤 彰子	安藤植木店	店長	花店	
スタッフ	E	田邊 千賀子	3×3lab / エコツツエリア協会		
	-	関根 久仁子	カムフル (株)	代表取締役社長	環境カウンセラー
	A	島 圭吾	カムフル (株)	オーナー	
	-	小川 典子	国産花き需要拡大推進協議会	花の国日本協議会プロモーション推進室長	
	D	鹿子木 慶一	国産花き需要拡大推進協議会	花の国日本協議会事務局	
C	十川 雅子	国産花き需要拡大推進協議会	花の国日本協議会事務局		

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆ディスカッションテーマ

花エコラッピング 重点アクション



◆テーマ1 : 2027年、花のラッピングはどうなっていると良いか？

Reduce

包装材を無くす

包装材を全て無くす/ラッピングなし・パリは花だけ (計4名)
ギフトは生花と花瓶セットで販売する
洋服や、お菓子などセットでギフトにしその中に生花も入れる
販売しない/花だけ販売の店ができる

包装材を不要に

家にある花瓶を持って買い物に行く
家にあるラッピングを持参する
ドライブスルー販売 (ラッピング必要ない)
スマホで読み取るラッピング (バーチャル)

素材変更

天然由来の素材にする 麻紐、藁、葉物など
布で包む
葉っぱで巻く/葉物にする (計2)
全て紙製にする
紙のみ 種類は様々 透明、半透明 硬いなど
紙ラッピングを筒状の長さで切る
溶ける紙包装にし溶かす
段ボールにする

新聞紙にする/濡れたり折れたりしない段ボールなどで包む
すべて再生原料から作られた資材のみ使用
生分解性、海洋性分解以外のラッピングの禁止
おしゃれなりボンでくるくと花を包む
透明の紙を作る
食べられる包材にする
食べられるリボン メシあがりぼん

保水しない

栄養剤のシート溶けるものに
花の品種改良!?
手持ちできる距離で購入

フィルムを使わないようにする
家の中で花瓶に入れると溶ける仕様へ
包まなくても折れない花を開発
移動販売 (家の近く)

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆テーマ1：2027年、花のラッピングはどうなっていると良いか？（続き）

Reuse

繰り返し使える包装にする

リユース可能な資材開発
マイバッグなど
家にあるラッピングを持参する
昔のお酒などと一緒で通い方式にする
リユース可能な資材開発
魔法の花瓶 ブーケホルダー購入で 交換する

2次利用できるものにする

鮮度保持と保水を兼ねた器にもなるラッピング
ペーパーに種を巻くと発芽する
折り紙になるような
ラッピングを解くと入浴剤へ
電子レンジでチンするとキーホルダーへ
保水パッドを使い回す

Recycle

リサイクルできるようにする

モノマテリアルにする

回収する

花屋でスーパーなどで回収の仕組みを作る

◆テーマ2：環境アクション、お客様への啓発活動をどのように行うか？

インセンティブ

ラッピングリサイクルでポイント還元
花業界だけのエコポイント（Fポイント）を作る 持ってくるとシールと交換・宝くじなど
アプリ、ポイントなどでお客様に還元、産地、生産者様へ還元していく
ラッピングがいる人いない人で費用を分ける

効果の可視化

可視化し理由付け どれくらいエコラッピングに変えたら環境負荷削減になるか数値化、
掛け声ジェスチャー、称え合う、など楽しくなるような流行を作る（レッツエコラッピング）など

意識の醸成

ラッピングを無くす
SNSなどの媒体でラッピングなしがヨーロッパ流のおしゃれという風潮を作る/海外で既に実施している
映像を見せる
CM「女性が花のラッピングはいらないなど」メディア露出、芸能人、TikTok、YouTubeを使う
母の日にラッピングなしの花をシンプルに渡す
花業界共通で啓蒙活動 ポスターロゴ、キャッチコピー業界、お客様へのアピール
影響力のある企業で先陣を切って進めていく

啓発

小学校や幼稚園などで授業することで末端の方から認知を広げていこう
ゴミ拾いイベント 山の頂上で愛を叫ぶイベントなどと合わせてエコラッピングの花を渡す
有名な賞の花束にエコラッピングを使う
エコラッピングコンペを行う 大賞など

リパーパス

結婚式の花などを捨てるのではなくアメリカでは老人ホームなどでプレゼント
花を通じて森海動物すべての協会を作る←実行している花屋さんなどにバッジをプレゼント

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆花エコラッピング研究会 第2回 共創ワークショップ概要

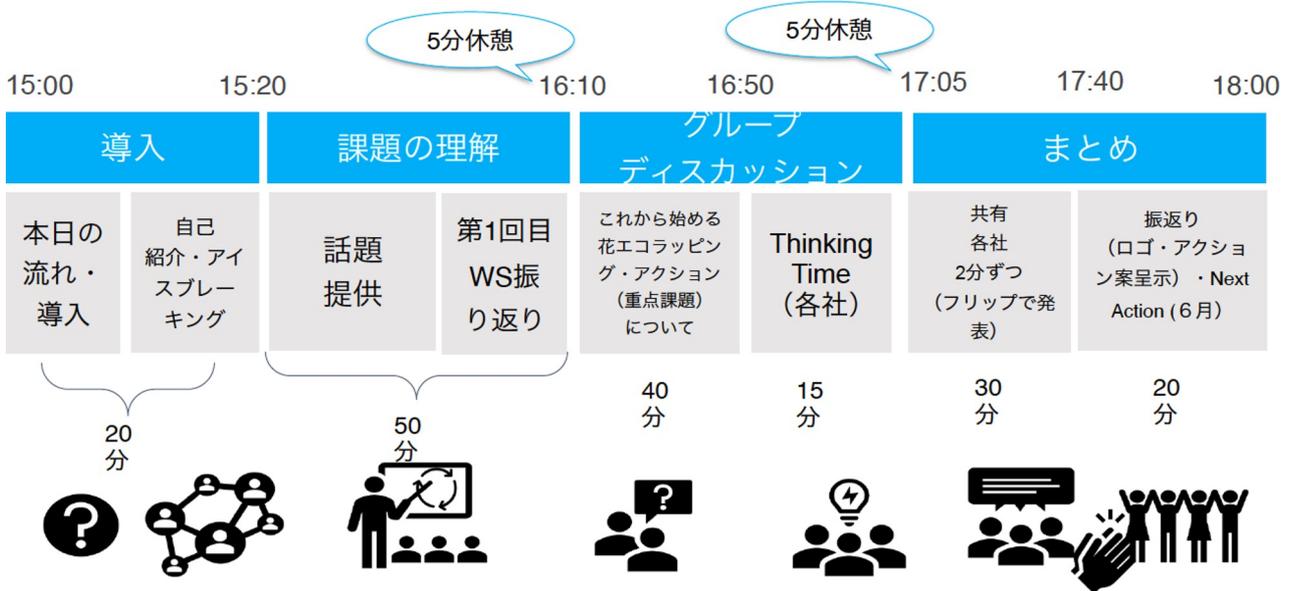
第2回 開催日時：2024年2月9日（金）15：00～18：00頃
 開催場所：パーク・コーポレーション（MARS）研修会場
 参加企業：14社＋カムフル・国需協
 参加人数：26名（3名欠席）
 ゲスト：環境カウンセラー・NPO元気ネット鬼沢良子様、
 東京都環境公社

第2回 参加企業・参加者リスト

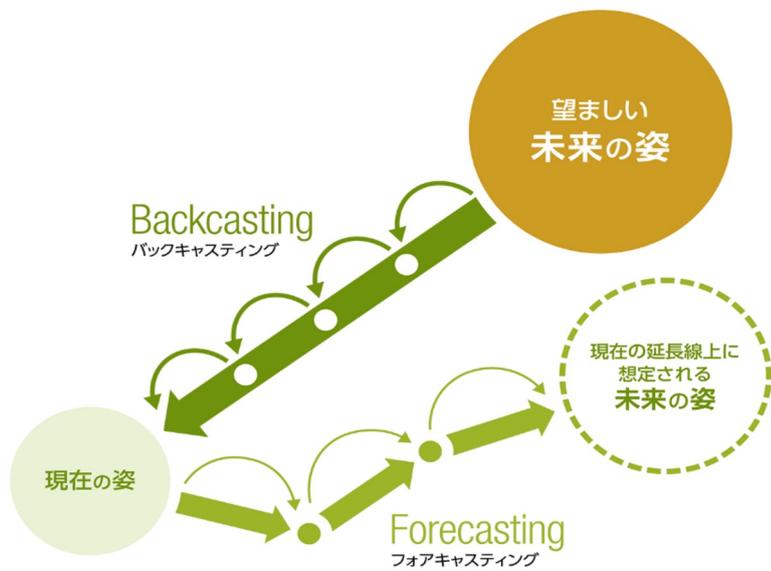
ゲスト	1	行政	東京都環境公社	川島 野土花	A
	2	行政	東京都環境公社	木原 大輔	B
	3	環境カウンセラー	NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長	鬼沢 良子	C
参加者	4	花店	(株)花佳	薄木 健友	C
	5	花店	(株)花茂	大矢 みな	D
	6	花店	(株)ワイズスタイル	蔵田 由貴美	A
	7	花店	(株)日比谷花壇	青木 渉	B
	8	花店	(株)ランドフローラ	藤本 祐矢	E
	9	花店	(株)パーク・コーポレーション	大草 久美子	B
	10	花店	(株)パーク・コーポレーション	三浦 素直	C
	11	資材メーカー・卸	(株)東京堂	西潟 聡	A
	12	資材メーカー・卸	(株)東京堂	鈴木 利治	B
	13	資材メーカー・卸	松村工芸(株)	眞川 秀貴	A
	14	資材メーカー・卸	松村工芸(株)	岡本 志保	C
	15	資材メーカー・卸	(株)シモジマ	佐藤 元一	D
	16	資材メーカー・卸	(株)シモジマ	山崎 洋平	C
	17	資材メーカー	東京リボン(株)	森田 剛太郎	D
	18	資材メーカー	東京リボン(株)	河田 牧子	A
	19	資材メーカー	スミザーズオアシス ジャパン(株)	道田 隆	B
	20	資材メーカー	スミザーズオアシス ジャパン(株)	緒方 雅尊	E
	21	資材メーカー	クリザール・ジャパン(株)	海下 展也	D
	22	華道家・フラワーセラピスト	春野 博子	春野 博子	E
		23	環境カウンセラー	カムフル(株)	関根 久仁子
24			カムフル(株)	水野 浩行	D
25			カムフル(株)	井上 魁斗	E
26			国産花き需要拡大推進協議会	小川 典子	
27			国産花き需要拡大推進協議会	十川 雅子	E

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆ワークショップ当日の進行



◆SDGsの目標を達成するためのアプローチ

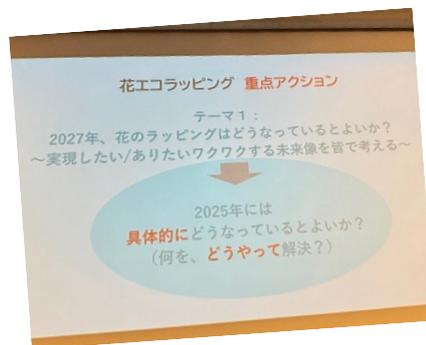


未来のあるべき姿
(SDGsを達成した世界)
から遡り、今やるべきことを
逆算で考えて行動する
「バックカスティング」思考を!

今がこうだから、きっと来年はできてもこれくらいかな? と、現在の延長線上に想定される未来を積み上げ方式の「フォアカスティング」ではなく、まず未来のあるべき姿、こうなりたいという将来目標を設定し、2030年にそうなっているためには、5年前の2025年にはこうなっているべき、2025年の目標達成のために、2024-2025年までに年次でできることは、と今やるべきことを逆算で考えて行動する思考。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

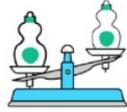
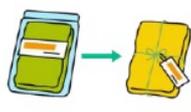
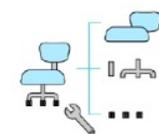
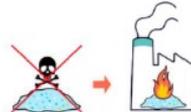
◆ワークショップの様子



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆環境省資料より「エコデザイン」について

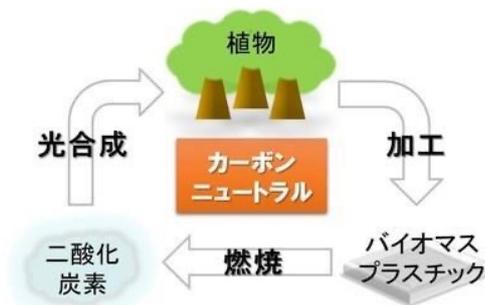


<p>①減量化</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ使用する材料を少なくすること。 	<p>②包装の簡素化</p> <ul style="list-style-type: none"> 過剰な包装を抑制すること。 	<p>③長期使用化・長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品全体の耐久性を高めること。 繰り返し使用に耐えるものとする。 部品を容易に交換できる構造とすること。 容易に修理することができるようにすること。 
<p>④再使用が容易な部品の使用 又は部品の再使用</p> <ul style="list-style-type: none"> 再使用が容易な部品を使用すること。 部品の再使用をすること。 	<p>⑤単一素材化等</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品全体又は部品ごとの単一素材化又は使用する素材の種類等を少なくすること。 	<p>⑥分解・分別の容易化</p> <ul style="list-style-type: none"> 部品ごとに容易に分解・分別できるようにすること（リチウムイオン蓄電池とその他の部品等とを容易に分解・分別できることが望ましい）。 部品等を取り外すまでに必要な工程数ができるだけ少なくなるようにすること。 使用されている材料の種類を表示を行うこと。 
<p>⑦収集・運搬の容易化</p> <ul style="list-style-type: none"> 可能な限り収集・運搬を容易にするような重量、大きさ、形状及び構造とすること。 	<p>⑧破碎・焼却の容易化</p> <ul style="list-style-type: none"> 再使用又は再生利用が難しい部品等については、破碎や焼却の容易化に配慮すること。 	

↑エコデザイン<構造のイノベーション>

↓エコデザイン<材料のイノベーション>

↓バイオプラスチック



①プラスチック以外の素材への代替

- プラスチック以外の素材に代替すること。



②再生利用が容易な材料の使用

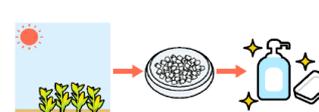
- 再生利用が容易な材料を使用すること。
- 材料の種類を減らすこと。
- 再生利用を阻害する添加剤等の使用を避けること。



④バイオプラスチックの利用

「バイオプラスチック導入ロードマップ」を踏まえ、バイオマスプラスチックを利用すること。

- 生分解性プラスチックを利用すること。



出典：環境省

③再生プラスチックの利用

- 再生プラスチックを利用すること。

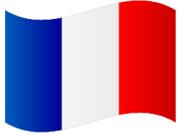


	バイオマス資源	石油資源
生分解性	ポリ乳酸、微生物産生ポリエステル	ポリカプロラクトン、芳香族/脂肪族ポリエステル
非生分解性	バイオPE、バイオPET、バイオナイロン	汎用プラスチック (PE、PP、PET)

出典：大阪大学宇山教授資料

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆海外や異業種の取り組み紹介



フランスで衣類の売れ残り廃棄禁止法がスタート
寄付・リサイクルを義務化→EUへも波及、2年後から



EU、売れ残った服の廃棄を禁止「つくって捨てる」時代は終わり | ELEMINEST (エレミニスト)

EU初、衣料品にも拡大責任者責任 (EPR) 法を適用

「必要な分だけ」をつくり・買う社会へ！

流行品を低価格で大量消費する「ファストファッション」による衣料品の廃棄拡大に歯止めをかける

この循環型経済のための廃棄物対策法では、今回紹介した衣料品廃棄の禁止以外に、廃棄物対策のための新しい規則が盛り込まれている：

☑商品の情報を消費者に正しく伝えるために、**製品パッケージに「生分解可能」や「環境に配慮しています」などの言葉を使うことができなくなる**

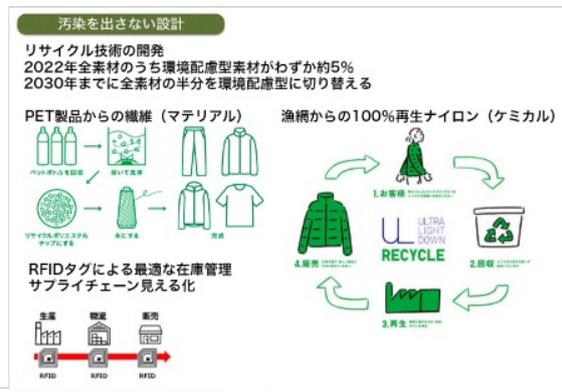
☑2023年には**ファストフード店にて、店内飲食で使い捨てる皿やカップを使用禁止**

繊維から繊維 (リサイクルポリエステル) へ

グローバルを視野に入れた繊維循環の取り組み



古着を再資源化する繊維循環システム「Fiber to Fiber®」は、2025年の本格始動を目指し、古着の回収は、アパレルショップや小売店で置かれる回収ボックスで2023年秋から開始



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆海外や異業種の取り組み紹介（続き）



水平リサイクルの事例

飲料用ボトルの取り組み

コカ・コーラ&セブン&アイ・ホールディングスの共同企画「一（はじめ）緑茶 一日一本」



特定のグループの店頭で回収したペットボトルをリサイクルの原料として用い、同一のグループの店頭で商品として販売するという世界初の取り組みを2社間で実践中。

出典：コカ・コーラ社HP

紙化の事例

様々なカテゴリーの容器包装で加速する脱プラスチック化

世界初！紙カミソリ



出典：ローソン株式会社HP



出典：ネスレ社HP

ラベルレスやプラスチック削減事例



UDフォント
成分表示、ご使用方法に、
見やすいユニバーサルデザインフォントを
採用しました。



バイオマスインキ
目録データの一部に、
バイオマスインキを使用しています。



FSC® 認証紙
責任ある森林管理を支援するパッケージ
として、FSC® 認証紙を採用しました。



出典：クラシエホームプロダクツ株式会社HP



出典：一社 全国清涼飲料連合会HP

<http://www.j-sda.or.jp/environment/search/pages.php?cat=2&id=2>

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

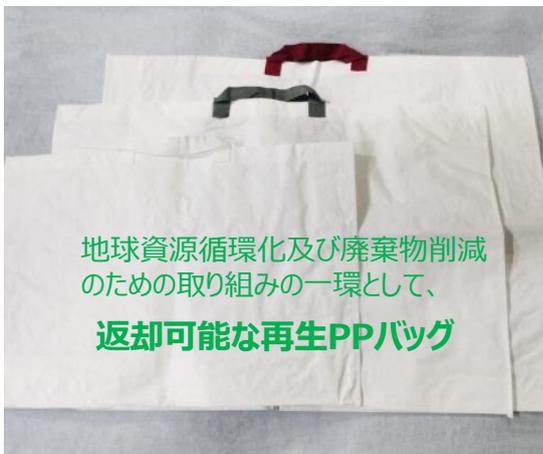
◆海外や異業種の取り組み紹介（続き）



小売ブランドの事例

MUJI 無印良品

 <p>プラスチック収納の回収</p> <p>対象：無印良品のポリプロピレン/ポリエチレン収納</p> <p>回収対象商品はこちら + リストで確認されたい方はこちら</p> <p>基準をクリアしたものは中古品として再度販売。基準に満たないものは、粉砕・洗浄した後、無印良品の商品に生まれ変わります。</p>	 <p>プラスチックボトルの回収</p> <p>対象：無印良品で販売している化粧水/乳液/導入化粧液全シリーズのPETボトル（50mlは対象外）、自分で詰める水のボトル</p> <p>回収したPET素材のボトルをリサイクルすることで、プラスチックごみを削減し、石油由来原料の有効活用につなげています。</p>
 <p>紙製ハンガー・紙製フックの回収</p> <p>対象：無印良品で販売しているインナー及び雑貨の紙製ハンガー・紙製フック</p> <p>回収したハンガーやフックは、古紙再生した上で再度紙製ハンガーとして活用します。（油污れ、水濡れがある場合は回収対象外です。）</p>	 <p>衣類の回収</p> <p>対象：無印良品の衣料品全般（下着・靴下・靴・バッグは対象外）</p> <p>お客さまに長年愛用していただいた服を回収し、まだ着ることができる服を日本で染め直し、アップサイクルして衣料品として再生します。</p>



地球資源循環化及び廃棄物削減のための取り組みの一環として、
返却可能な再生PPバッグ

2020年3月以降プラ製のショッピングバッグを廃止、紙製のショッピングバッグへ移行

大きなサイズの商品・まとめ買いには3サイズで展開される「**再生ポリプロピレンバッグ**」を別途販売

不要になった場合、全国の無印良品に返却でき、その場でバッグ代の返金を受けられる
⇒ユーザーは費用負担なく、環境負荷低減に寄与できる（破損してしまったものでも問題ない）

回収されたバッグは車の内装の素材などにリサイクル予定。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆海外や異業種の取り組み紹介（続き）



小売ブランドの事例 リサイクル・リユース活動／ブランドとして環境アクションを宣言

MUJI 無印良品

自然界から借り出してきた資源がこの先もずっと無理なく回っていくように。

無印良品は一部商品を対象に、お客さまから不要になった商品を店舗で回収し、原料・リサイクル商品として活用するリサイクル・リユース活動に取り組んでいます。



無理なく、「自然」に、循環を。



[無印良品のリサイクル・リユース | 無印良品 \(muji.com\)](https://muji.com)

「無印良品では、提供する商品やサービスや活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現を目指しています。」

⇒自然とのより良い関係を目指し、地球資源の循環化および廃棄物の削減に向けて行っている様々な取り組みとその実績をHPで公開

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆テーマ2：他のグループの意見を聞いて、自分達ができること

- 「テーマ1」は第1回WSと同じ「2027年、花のラッピングはどうなっていると良いか？」をテーマにディスカッション（今回初参加の人が多かったこと、また、同じテーマを繰り返し考えることでより深度と解像度が増す効果もあるため）。前回同様、自由な意見・アイデアが多数見られた。
- その「テーマ1」各グループの発表を経て、今回はさらに「自分達ができること」を考えた。その意見を抜粋し、それぞれ「花店」「資材メーカー」に分けて紹介。

花屋さんたちの 「環境アクション」 宣言

お客さまへのPRと啓蒙

- ・お客様がラッピング不要の選択をしなくなる仕掛けづくり（例：ラッピングなしの方には花1本プレゼント、ポイント付与など）。
- ・花業界が環境に取り組んでいることを、店頭でお客さまに伝えたい。
- ・「#花のABCワークショップ」をエコに特化して広げていく。

まずは自分達がよく理解する

- ・たとえば商品についているPPやPEといったマークもわかっていない現状。しっかり基本を理解する。
- ・環境に対する取り組みについて正しくお客さまに伝えるための社員教育も必要。
- ・エコラッピング大会の開催。

ラッピングについて

- ・竹や葉などの自然素材を活用する。
- ・セロファンは使わない。
- ・回収、もしくは繰り返し使えるものに。

メーカーさんと協力して

- ・花の残渣を使ったペーパーやフローラルフォームなどの開発。

資材メーカー さんたちの 「環境アクション」 宣言

新しいエコ資材の開発

- ・エコ原料ベースの資材を開発する。
- ・2度利用用途があるラッピングを開発する。
- ・自然素材を使った造花。
- ・再利用できる素材で作る。

今あるものから工夫

- ・天然由来の素材を用いた製品のバリエーション拡大。
- ・切花栄養剤の小袋素材をプラスチックから紙に変える。
- ・フローラルフォームの在り方を考える→使用後の処理方法など。

啓蒙活動

- ・社内でエコ大賞を実施。
- ・リサイクルや紙製ラッピング商品の必要性の提示。
- ・有料袋の代金を自然保護基金へ寄付する。

業界全体で

- ・バイオマスOPは高いが、業界全体で使用してコスト削減。
- ・ラッピング規格（サイズ）大幅削減。
- ・フラワーロス再生原料ラッピング統一企画を作る。
- ・エコテーマの話をする時間を増やす、もっと専門家と話すなどして学ぶ。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆Next Step 次年度に向けて：2024年6月環境月間～9月SDGs週間
脱プラ・サーキュラー/花エコラッピング研究プロジェクト（分科会①）



well-blooming
project

R6年度へ

6月の「環境月間」に向けていっしょに取り組んでくださる仲間を大・大・大募集！

これから、花業界の皆様や、時に異業種の方々と共に、花業界の“環境アクション”を推進していきます。毎年6月の「環境月間」や9月の「SDGs週間」をきっかけに、活動の盛り上がりを創出していきます。全国の一店一店の花店様、一社一社の企業様がそれぞれに、毎年独自の“環境アクション”を宣言・実行し、その成果を年々積み上げながら、花業界全体の大きなムーブメントに育てていきます。

エントリーいただくと…（2024年5月中旬～展開予定）

- ダウンロードツールのご提供
 - * 店頭用POPの雛形データ
 - * well-blooming project ロゴデータ申請権 など
- 店頭用ステッカー提供
- 半期毎の活動レポート共有
- 花の国日本協議会公式サイトに参加花店名・企業名の掲載など、順次充実させます

POP Sample



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

脱プラ分科会② 切花市場 産地由来包材 プラ資源サーキュラープロジェクト

◆ダルマなど資材の回収・リサイクルスキーム検討



花店に持ち帰られる
or
市場に捨てられる
流通過程のプラ資材

+ダンボールごみ見直し
+ゆくゆくは植物残渣回収

先行取り組み：大田花き様

6/16 初回ヒアリング・市場見学
8/2 ダルマ実物を見ながら打合せ
ダルマ年間推定量算出
12/5 打合せ再開
2/20 打合せ続き
3月4月 ごみ計量器デモ実験
6月環境月間～ダルマ回収実験

追従取り組みに向けて：都内市場様・広島花満様

12/5 東日本板橋花き様初回ヒアリング・市場見学
12/14 秋葉原UDX ゴミ計量機見学
2/20 広島花満様初回打合せ（世界ばら会議福山大会）
3/8 世田谷花き様・東京フラワーポート様合同打合せ
6月環境月間～ダルマ回収実験（要相談）

R6年度へ

7月～ ごみ計量器デモ実験スタート @東京フラワーポート様
9月～10月 広島・花満様
福山世界ばら会議・広島県補助事業（ユニリーバ社）でダルマ回収実験

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆ダルマの形状・プラスチック素材種類・重量



◆考察

- ①分別は、リサイクルしやすい **PET・PS・PE** の3種類としたい ※PSはバージン・再生の分別不要
- ②品質が良い（汚れが少ない・水がびしゃびしゃしていない・異物混入が少ない）
- ③ある程度の量が確保できること ※ペレット試作の場合はPET・PS各500kg必要

◆Next Step 次年度に向けて：市場でダルマ分別回収・ゴミの計量実験

R6年度へ



ごみの見える化

まずは**自主計量システム**を使ってごみの見える化を実施（ごみの種別排出量、それぞれ処理フロー、委託先、コスト）

花の種別売上に対するごみの原単位の算出ができる**ごみの量が推計でき、経費・ごみの量の削減**や リサイクルの促進に寄与

※一元管理会社の見直しも検討⇒段ボール・雑紙は自社で畳んで重ねるだけで古紙再資源化先へ有価販売へ

マテリアルリサイクル

資材メーカーとも協議し、ダルマ・鉢トレーなどの**水平リサイクル・マテリアルリサイクル**を目指し実証を行う

輸送時の効率アップや前処理のために**圧縮機**や**粉碎機**の導入も検討したい

さらに、リサイクルバリエティ（処理スキーム、出口、販売先・価格）の検討へ

環境配慮設計

プラ資材そのもの見直し（削減・規格や樹脂の統一、代替素材検討等）

→**イノベーション**を！

バイオマス利活用

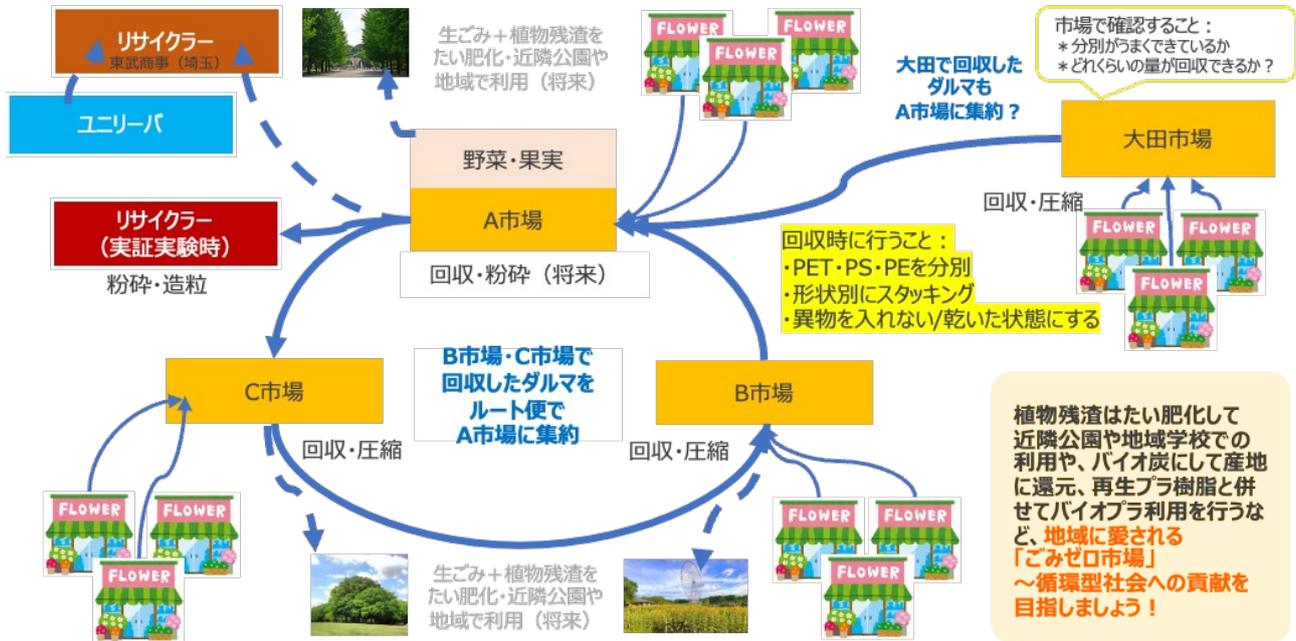
（詳細次ページご参照）**地域に愛される「ごみゼロ市場」～循環型社会への貢献を目指しましょう！**

その他：R6年事業 各市場→各種助成金申請に向けた準備

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション



◆回収・リサイクルの流れ（現時点では妄想案）



◆「第20回世界バラ会議福山大会2025」へ環境テーマ参画に向けて



第20回
世界バラ会議
福山大会
2025
WORLD ROSE CONVENTION
2025 in FUYUKAMA

大会名称
第20回世界バラ会議福山大会2025

テーマ
Roses for the Future
～福山からはじまる、新しい未来～

コンセプト
みんなで創る みんなで盛り上げる みんなで輝く

開催期間（予定）
本会議 2025年(令和7年)5月18日(日)～24日(土)
プレツアール 2025年(令和7年)5月12日(月)～17日(土)
ポストツアール 2025年(令和7年)5月25日(日)～30日(金)

開催主体

世界バラ会議福山大会実行委

特別顧問 観光庁・農林水産省・国土
(公社)日本ばら会
会長 (公社)日本ばら会
実行委員長 福山市

第20回世界バラ会議福山大会2025及びRose Expo FUYUKAMA 2025
市民・企業提案型事業 事業計画書

団体名	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社
事業名	「Unite for Smile, UMILE ふくやま」 シャンプー等使用済空容器とバラ剪定枝をアップサイクルした新商品の開発
項目	ユニリーバ SDGsプラットフォーム、「UMILE (ユーミール)」にて回収されるシャンプー等使用済空プラスチック容器(福山市内含む)と、Curelabo株式会社のバラ剪定枝サイクリング技術を掛け合わせ、また、花き業界の企業・団体から構成される一般社団法人花の国日本協同会と取り組むことで、日用品を販売するスーパー・ドラッグストアなどの小売店舗にもとより、地域の花店/ホームセンター・ガーデンセンター/種苗会社/花生産者などを巻き込み、生活者/観光客に対して訴求できる「高付加価値なアップサイクル品」を開発し、「地域資源循環モデルの構築」を体現し、「ばらのまち福山」について、サステナビリティの観点からのブランディングを実現する。

ユニリーバ社主導で公募申請
→→採択へ！！

「UMILE」サーキュラーエコノミー
プロジェクト・広島県採択事業を
福山市で横展開

- ユニリーバ社×地域の花業界
×地元企業Curelabo社 コラボで
実施決定
- 福山市で異業種連携・プラごみ&
植物残渣サーキュラーエコノミーの
実現へ

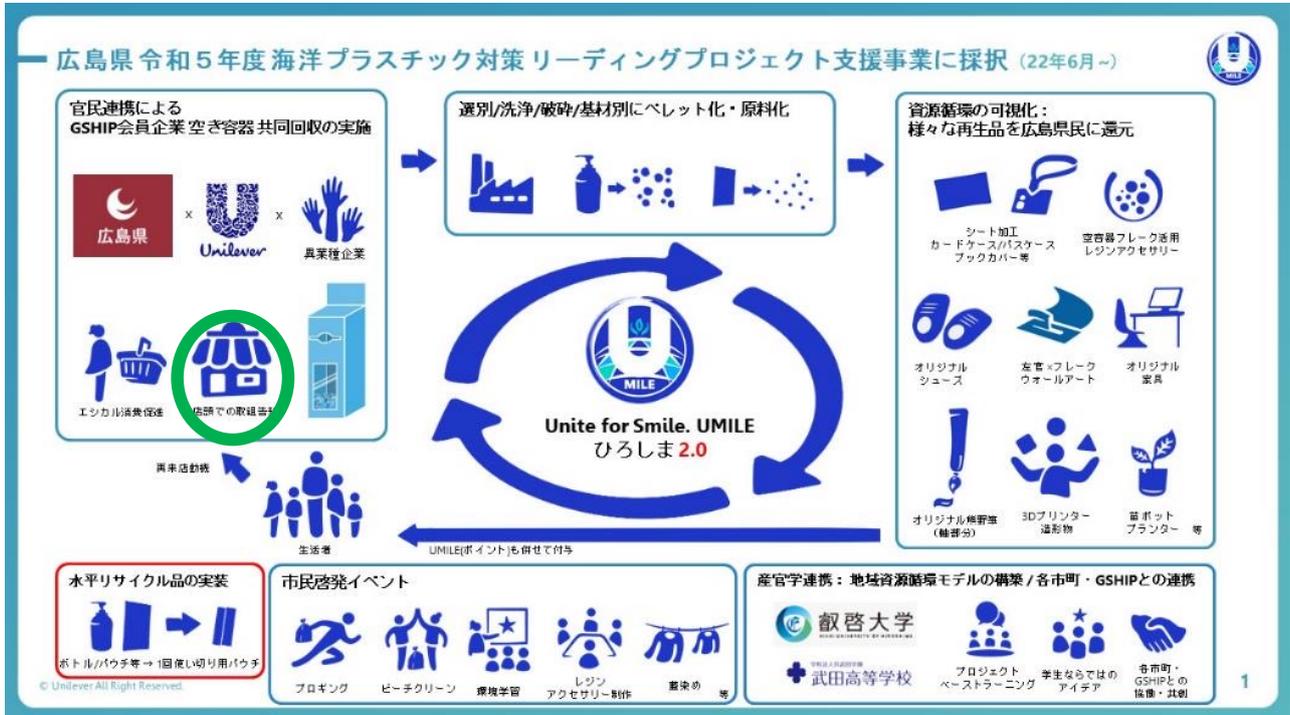
★R6年度本格調整スタート
地域のドラッグストア、花市場、花店、ホテル・
駅ビルなど商業施設で連携

「ばら会議」の要素	欧米をはじめとした世界各国からバラ愛好家が集まるバラ会議において、シャンプー等使用済空プラスチック容器や、バラの剪定枝をアップサイクルしたサステナブルな取組として発信することで、ばらのまち福山をサステナビリティの観点からも福山市民はもとより国内外の来場者への発信、環境啓蒙・ブランディングに寄与することができる。
事業効果	本事業から得られる要素としては以下内容が考えられる。 ・「ばらのまち福山」の新たなブランディング ・福山におけるサーキュラーエコノミーの構築 シャンプー等使用済プラスチック空容器と、従来廃棄されてしまっていたばらの剪定枝を掛け合わせ、アップサイクルした製品にすることで、「福山市らしい地域資源循環モデルの構築」を表現出来、第20回世界バラ会議福山大会に向けたブランディングにつながる。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆「第20回世界バラ会議福山大会2025」へ環境テーマ参画に向けて（続き）

広島・花満様（+広島県東部花き様）を中心に花の国会員小売企業様にお声かけ
6月環境月間に、プラごみ&植物残渣回収の実験→→本番に向けて準備していく



福山駅や商業施設に
回収BOXを設置

花店由来のプラごみ（一部）一緒に回収
⇒フレック・ペレット化できる可能性大
地域の花店にも市民と共に参加していただきたい！



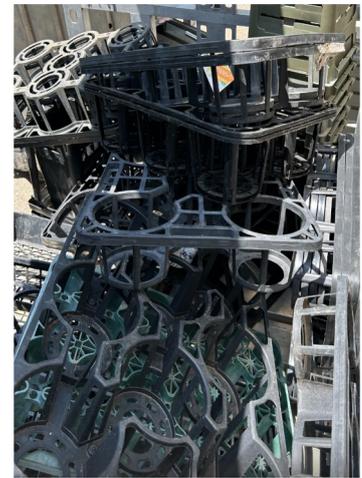
バラ鉢⇒
エコバッグなどへ



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

脱プラ分科会③ 鉢物市場「鉢トレー プラ資源サーキュラープロジェクト」

◆鉢トレーの回収・ リサイクルスキーム検討



豊明花き様鉢トレー回収時分類表
東西でサイズ仕様が異なる
100種類くらいあるのでは…！？
農水物流ガイドライン/
規格「01」への集約



◆取り組み：リーディング市場・豊明花き様

- 4/13 豊明花き様初回ヒアリング・市場見学
- 7/11 FAJ様初回ヒアリング・市場見学
- 10/4 鉢物プロジェクト会議内で本分科会に向けた説明
- 11月 鉢物プロジェクト会員市場13社にアンケート実施
- 1/24 豊明花き様打合せ
- 2/15 千葉県・花武様ヒアリング・店頭見学（資材メーカー様）

マテリアルリサイクル
（水平リサイクル）と
全く新しい様式の
開発へ

◆Next Stepに向けて

- 3/4 豊明花き様にてプレ・ラウンドテーブルプラスチック勉強会&ディスカッション
参加者：大阪大学宇山教授、関根さん、市場様、プラメーカー様、生産者様

R6年度 有志市場・関連企業・生産者で検討PJ発足

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆鉢物市場「プラスチックに関するアンケート」結果抜粋

●ご回答いただいた市場様（13市場中8市場様）※敬称略

花満（2名様がお返答）、フラワーオークションジャパン。豊明花き、九州日観植物、青梅インターフローラ、鴻巣花き、金沢花市場、西日本花き

質問 回答 0 設定

A-1 現在、貴市場に流通している「苗トレー・鉢物トレー」の種類は、ざっと何種類くらいありますか？
例) 10種類くらい

9件の回答

種類もまちまち

約50種類
細かい物を入れると80~100種類と思います
10~15種ほど
10種類くらい
30種類
15~20種類？良く分かりません
25種類くらい。微妙に形状が異なるトレーでも重ねる事で出来れば1種とカウントしています。
20種類くらい
約20週間位

A-2 それらの「苗トレー・鉢物トレー」がどんな素材でできているか、おわかりになる範囲で教えてください。（複数回答可）

9件の回答

素材わからないが多数

ポリプロピレン (PP)	3 (33.3%)
ポリエチレン (PE)	2 (22.2%)
PET	0 (0%)
ABS	0 (0%)
わからない	6 (66.7%)

質問 回答 0 設定

A-3 貴市場における「苗トレー・鉢物トレー」のお取り扱いについて教えてください。（複数回答可）

9件の回答

1:ワンウェイ (小売店に販売し...	2 (22.2%)
2:常時小売店から回収している	3 (33.3%)
3:曜日などを決めて定期的に小...	0 (0%)
4:小売店から回収したものを生...	4 (44.4%)
小売店から戻ってきたトレー...	1 (11.1%)
場内リサイクル業者あり	1 (11.1%)
過去は引き取り業者がいたが...	1 (11.1%)
中古トレーで販売	1 (11.1%)
回収業者が引き取り、生産者...	1 (11.1%)
関連業者が1部の規格のトレ...	1 (11.1%)
手すきの時に整理し生産者に...	1 (11.1%)

**小売店から回収
→生産者が再利用
が最も多いがワンウェイも**

A-4 A-3で「2:常時小売店から回収している」「3:曜日などを決めて定期的に小売店から回収している」とお答えになった方にご質問です。回収後はどうされていますか？

9件の回答

1:リユース (再利用)	55.6%
2:処分 (リサイクル)	22.2%
3:処分 (廃棄物として焼却)	11.1%
4:処分 (わからない)	11.1%
5:1:リユース、2:処分 (リユース) です	0%

質問 回答 0 設定

回収した苗トレー・鉢物トレーを「1:リユース」していると回答された方にご質問です。

A-4b リユースしているトレーのおよその数量 (枚数) を教えてください。

5件の回答

量もまちまち

約30,000枚/月
分かりません
週100枚くらい
毎週300~500枚。時季によって繁閑あり
月平均4000枚

A-4c リユースの仕組み・方法をお教えてください。

5件の回答

リユース方法も各市場まちまち

- 小売店から戻ってきたトレーを種類別に仕分け・クリーニングし、生産者へ販売
- 場内に置かれた、売場に置かれたトレーを業者が引取りリサイクル
- 買産人が所定の場所返却したものを生産者がセルフで回収
- 回収業者が持ち帰り、サイズ別に揃えて生産者に再販
- シールを取除き形状毎に重ねアルミ台車に積み上げて運送屋さんに売却しています。

質問 回答 0 設定

回収した苗トレー・鉢物トレーを「処分」していると回答された方にご質問です。

A-4b 1ヶ月あたり、およその処分トレー枚数を教えてください。重さ (kg) がわかる方は重さも教えてください。多い月、少ない月、平均数などもおわかりになりましたら教えてください。

3件の回答

100-300トレー
1000~2000枚くらい
数量・重さは分かりません

皆様に質問です。

A-5 「苗トレー・鉢物トレー」について、現状の課題がありましたら教えてください。

9件の回答

- 泥が付着しているトレーもありクリーニングに手間がかかる。戻ってくるトレーの中に農薬のプラ製品も混入している。
- 余りにも仕様が多く再利用しにくい。再生トレーにシールが貼付できず困る。
- 花屋の違法投棄。モラルの無い花屋がいる。過去に回収していた時も、持ち込みのルールが守れない。処理費用を買参人から取ってないのに、管理・費用が市場負担。
- 処分の方法
- トレー再利用をビジネスとして取り組んでいた運送会社が減少し在庫過多になっている
- 生産品目の多様化により、トレーサイズもまちまち。再販できないものもある。
- 汚れやシール。重ねられない形状。
- 同一サイズのトレーであっても生産メーカーによって違いがあり、回収置き場がかさばってしまうので統一規格のトレーでの生産をお願いしたい。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆鉢物市場「プラスチックに関するアンケート」結果抜粋（続き）

本アンケートに関するご質問などございましたら、ご自由にお書きください。

3件の回答

花屋が処理、費用負担をすることが大前提である認識が必要。気を付けないと、何でも市場が回収、廃棄場所となってしまう。処理については、人手・人件費・場所の確保に余裕思って対応できる体制があれば検討は可能。

まったく受け入れを拒否しているのではなく、トレーなどの廃棄はだれのためにするのか、回収はだれのために必要なのか。

花屋ではなく、消費者のための回収方法を考えないといけない。

土の回収も含めて、行政など業界外も含めて取り組むべき。

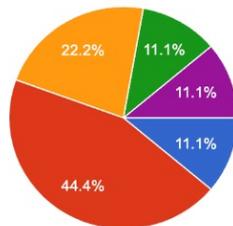
もしくは、バイオマス製品の普及率を高めてバイオマス製品をより安価に流通させ一般家庭でも処分できるようにすべき。

以前、トレーの統一規格に関して改善検討しましたが、現在是对応する組織がありません。

なし

私たち「国産花き需要拡大推進協議会」では、市場に流通するプラスチック製品を少しでも削減し、今後の資源高騰や世界的なプラスチック削減・有効活用を模索していくプロジェクトを立ち上げていきます。ぜひ多くの市場様にご協力賜りたく、仲間を探しております。第一回目のオンライン会議を来年2024年1月中下旬に実施したく、そちらにご参加いただけますでしょうか？

9件の回答



- ぜひ参加したい
- 参加を検討したい
- 参加したくない
- 前向きに検討させていただきます。
- 取組みたい気持ちはありますが、継続するのは大変な事です。

参画意思ありが多数
3/4参加市場募集！



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆鉢物トレープラ資源サーキュラープロジェクト（分科会③） プレキックオフ勉強会&意見交換会

3月4日（月）@豊明花き

参加者：大阪大学大学院工学研究科・宇山浩教授、
カムフル（株）環境カウンセラー関根氏
豊明花き、日本ポリ鉢、花苗生産者、国需協メンバー
（Zoom参加：花満、西日本花き、東京フラワーポート、鉢プロ事務局）

2024年3月4日

**プラスチックとどう共生していくか
～みんなでリサイクルを考える～**

宇山 浩
大阪大学大学院工学研究科
uyama@chem.eng.osaka-u.ac.jp

高分子（ポリマー）プラスチック・繊維

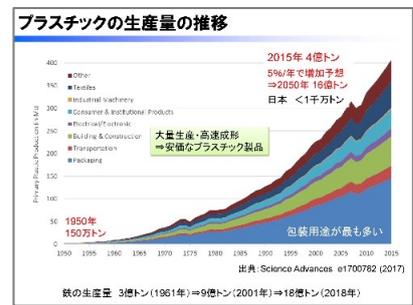
プラスチックの香味・粘着
形を作ることができる

樹脂（合成樹脂）
の天敵樹脂

松脂（ロジン）

プラスチックの特徴 一金属、セラミックスと比較してー

- ① 軽量 比重：プラスチック～1、アルミ2.7、ガラス2～6、鉄7.8
- ② 成形が容易 成形温度：150～300℃（多くのプラスチック）
- ③ 透明・着色が容易 ※一部のプラスチック
- ④ 柔らかさ・伸び・しなやかさ ※一部のプラスチック
- ⑤ 低製造エネルギー プラスチック10、ガラス40、鉄50、アルミ80（×10⁴ J/kg）
- ⑥ 低強度・低耐久性・低耐熱性



プラスチックの種類・用途

ポリエチレン(PE) 柔らかい、しなやか レジ袋、容器・タンク、フィルム・ラップ

ポリプロピレン(PP) 高強度、高耐熱、柔らかい タップ、容器、フランク、紐紐、

PET、ポリスチレン 硬い、透明 瓶・パック、PETボトル、コップ、発泡スチロール

プラスチックの種類・用途

ポリ塩化ビニル(塩ビ)

ナイロン

フッ素樹脂(フロン)

ポリカーボネート

アクリル樹脂

ABS樹脂

透明

透明

耐衝撃性

プラスチックリサイクルが難しい理由

- ✓ 同じ材質の収集が必要
- ✓ アロイ(ブレンド)、複合化での利用
- ✓ 汚れたプラスチックごみ
- ✓ コスト(vs新品プラスチック)
- ✓ 性能変化(vs新品プラスチック)
- ✓ 添加剤(可塑剤、難燃剤など)

ポリスチレン or PET PE or PP

食品包装材料

ポリカーボネート(ABSアロイ)

GFRP(ガラス繊維補強プラスチック)

食品用包装材料

包装材料の設計

表裏材 要求性能 内容物保護・情報提供
特性 遮光性・印刷適性・光沢

OPPフィルム

中間材 要求性能 内容物保護・品質保持
特性 遮光性・ガスバリア性・遮光性

AL蒸着PETフィルム

シールド 要求性能 耐熱・遮光性
特性 ヒートシール性
イージーピール性

CPPフィルム

OPP

ポリスチレン

ポリエチレン

CPP

ハムスキンパック

ふた材 カットハム

基材フィルム(びんごと密着する)

基材

PA	強度	PP	透明性
EVOH	遮光/バリア性	PET	耐熱・耐油性
EVAC	耐湿性	EVA	耐凍性
アイオノマー	シール性	PA	強度
EVAC	シール性、突き刺し耐性	EVOH	遮光/バリア性
		EVA	シール性、突き刺し耐性
		アイオノマー	シール性

出典：食品用プラスチック容器包装の利点 日本プラスチック工業連盟

プラスチックリサイクルの現状

日本のプラスチック 903万t
2017年プラスチック廃棄物総量

「サマールリサイクル」

14% 再生樹脂
その他利用

15% 輸出

86% 「有効利用」

サマールリサイクル
海外ではサマールリカバーに分類
⇒リサイクルに含められない

リサイクル率<10%
EUと比べて低い(アメリカは同程度)

中国・ASEAN諸国 ゴミの輸入禁止
ゴミの行き場がなくなり社会問題化

行き場失っ

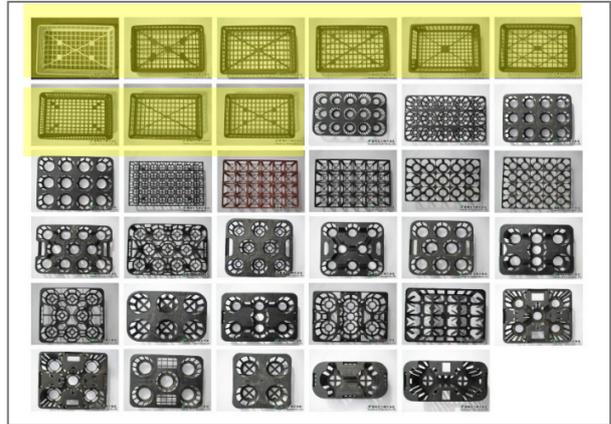
出典：https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/17/

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆Next Step 次年度に向けて： 全国主要鉢物市場にて鉢トレ種類別数量カウント作業 ～鉢トレプラ資源サーキュラープロジェクト（分科会⑥）キックオフ

先行市場の取り組み：

- カゴトレ01タイプへの集約化に向け
回収後、今まで廃棄にしていた6割を資源化
→リサイクルプラ製に順次切り替えていく
(案：市場が優良生産地に予約発注する分から切り替え)
- 今まで回収→整理→リユースしていた4割の
トレのタイプを絞っていく（=型を減らしていく）
→不要タイプ淘汰



全国大手鉢物市場（計8社予定）にも働きかけ 各市場からの帰り便で豊明花き最終回収

=数量把握の上、集積→リサイクル可能性探る

4月中
各市場へ説明

5月
母の日日間
トレ数
最大化

6月
トレ種類
トレ数
カウント依頼

7月8月
集計、作戦

9月～
回収→粉砕
水平リサイクル実験

R6年度へ

令和6年6月吉日

全国鉢物類振興プロジェクト協議会に
ご参加の鉢物市場各位様

国産花き需要拡大推進協議会 事務局
(一般社団法人花の国日本協議会)

well-blooming
project

貴市場鉢物トレに関する調査ご依頼

尚書様、皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協議会で推進します花業界の環境アクションの一環で、将来的に鉢物トレの「水平リサイクル」を目指すプロジェクトを立ち上げるべく、動きはじめております。昨秋は皆さまにもアンケート調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

本年令和6年度の事業では、リユースできずに廃棄にまわっているプラスチックトレを回収→バレット化→リサイクルプラスチック含有の再生トレ（01に集約）に作り替えて、業界内で循環させることできないか、実証実験を始める予定です。

そのためにはまず、全国の大手鉢物市場様において、どのくらいの量の鉢物トレが廃棄されているのか把握し、通常の商流の中で、回収可能な市場様に廃棄予定のトレを集めることができるかどうかなど、検証したく考えています。

つきましては、母の日以降、貴市場内に滞留している廃棄予定の鉢物トレの調査を7月上旬お願いしたく、ご協力のご依頼となります。

豊明花き種の事例で申し上げますと、全体のトレ数約6割はリユース、4割は破損などを理由に廃棄しているそうです。この4割を廃棄することなくリサイクルし、少しでもペーパーンプラスチックの使用を減らし、今後社会的に許されなくなる使い捨てプラスチック資材を花業界でも抑制することで、結果的に鉢トレの型も集約され、効率的な物流にも繋げられるよう、花業界全体で協力し解決策を模索していければと思います。

ご多忙のところご面倒をおかけいたしますが、各社様、何卒本調査へのご協力をお願い申し上げます。

▼具体的な依頼事項
トレの種類がものすごく多いと思いますが
①特に多いトレ、ベスト10の一覧表（画像）
②10種のトレそれぞれ/その他トレまとめて、約1ヶ月間に市場に滞留している枚数をカウントしてください。
※1ヶ月が難しい場合は1週間の数量でもOKです

調査結果のご連絡先：info@hananokuni.jp
ご回答締切：2024年8月8日（木）

【ご参照】花業界の環境アクション「well-blooming project」について
国産協公式サイト：https://homuse-hana.jp/wellblooming/
ニュースリリース配信（4/23・5/30）QRコード→

1例：豊明花き種鉢物トレ回収時分類表

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆カムフル社報告書より

抜粋



令和5年度 環境アクションに関するコンサルティング業務 実施報告書

令和6年3月31日
カムフル株式会社

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆カムフル社報告書より（抜粋）

【コンサルティングの概要】

- ①花業界各社へのヒアリングとアドバイス
- ②環境セミナーの開催（第一回10月18日）
- ③花エコラッピング研究会（第一回11月10日、第二回2月9日）
- ④花業界内での分科会設立へのアドバイスと方向性の提案
- ⑤well-blooming のロゴの作成と企画提案
- ⑥その他：花業界にも関連性のあるサステナビリティの最新動向等共有等

④花業界内での分科会設立へのアドバイスと方向性の立案

1.脱プラ減プラ&花エコラッピング研究

1-1 業務目的

- ・回収・リサイクルよりも削減/サイズダウン、代替素材を含むバージン原料の削減

1-2 業務内容

- ・エコバッグ開発による使い捨てプラスチックの削減
- ・花店→消費者へ意識改革&啓蒙活動

2.プラごみサーキュラー（切花、だるま）

1-1業務目的

- ・産地由来包材(花店→花市場回収)のサーキュラー化によるバージン原料の削減
&使用エネルギーの削減

1-2 業務内容

- ・ダルマの現状状況の把握（大田花きにて）
- ・市場への環境教育（プラ廃棄物の実態調査&計測）
- ・ダルマ単一素材への誘導

3.プラごみサーキュラー（鉢物トレー）

1-1業務目的

- ・産地由来包材(消費者→花店→花市場回収)のサーキュラー化によるバージン原料の削減と使用エネルギーの削減

1-2業務内容

- ・鉢トレーの現状状況の把握（豊明花きにて）
- ・市場への環境教育（プラ廃棄物の実態調査&計測）
- ・トレー規格統一化減プラに向け仕様見直し

⑤well-blooming のロゴの作成と企画提案

花業界全体の環境アクションの象徴とするためのロゴ、企画の作成。



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆カムフル社報告書より（抜粋）

【令和5年度振り返り・考察】

1. 花業界の環境領域の取り組みの現況と課題

市場流通/加工～生花店の関係各位（ステークホルダー）訪問・ヒアリングを通して把握できたのは、会社によって環境課題に対する理解度や取り組みの差異があること、資源循環や脱炭素の観点から行うべき科学的根拠に基づく取り組み方針の策定やアクション推進が充分とはいえない状況であることがわかりました。

特に、ゼロファン（OPP）・不織布やフローラルフォームなど、生活者にわたった後に使い捨てられるプラスチック製容器包装の使用量の多さや、流通において多用されるプラスチック製のトレイやダルマなどの容器、段ボール箱などが、リユースも一部されていますが、大半は大量に再資源化されることなく廃棄されている状況を確認し、それらに対する改善の取り組みが最優先課題と思われました。

これらの改善のためには、まず種別の使用/廃棄量やサプライチェーン全体での調達～流通形態、廃棄物の処理フローなどの把握から始め、どのような削減・再資源化手段を講じることができるかなど、目指すべき姿からバックカスティングした全体像を描くことが肝であると考えます。

また、環境カウンセラーの知見にもとづき、流通のハブとなる花市場と花屋が連携した資源回収・リサイクルの協働、異業種との連携も視野にしたスキーム案について策定し、花市場を中心に意見交換を行いました。

さらに、花の生産農家における取組も含めた、サプライチェーン全体での環境負荷/LCA把握、一体となった改善のための戦略策定が必要ですが、本年度はまずMPS認証を受けた生産者の状況やヨーロッパの動向などを確認することから開始しました。

2. 環境を取り巻く国内外の動向の理解

個社個社で様々な取組を検討、進めていくことも大切ですが、お客様への働きかけ・啓発を花業界全体で行っていくことで「花業界の変革」を周知できると考えました。

そこでまず、花業界各位の知識・意識醸成を図ることが重要と考え、ヒアリング、セミナー/勉強会を通して、花業界全体で環境を取り巻く動向や国の資源循環戦略などについて共に学び、その結果、一定の知識の底上げを行うことができました。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆カムフル社報告書より（抜粋）

【令和5年度振り返り・考察】（続き）

個社の取り組みの中には、科学的根拠に照らし合わせて環境配慮を訴求できるか曖昧なケースも一部見受けられ、グリーンウォッシュがより問題視される昨今、先行しているヨーロッパなどのガイドラインも参考に、最終的にリサイクルが日本で可能かなども留意し、消費者も企業イメージも守っていくよう努める必要性が高まっています。

さらに、関係者が集まって実施した数回のワークショップ等を通して、実際に花業界で課題となっていることとりわけ生活者にわたった後に使い捨てられるプラスチック製容器包装に着目して、その削減や再利用しやすいものや環境負荷の低い代替素材の案などについて、企業の垣根を越えて検討しました。すぐ実現できるアイデアから、花の業界が目指す未来の姿なども楽しく協議でき、業界内の目線合わせを行うことができたと思います。

ワークショップの結果も踏まえた花の国日本協議会を中心に花業界が一丸となって取り組む「well-blooming project」を立ち上げ、様々な環境対応商品の紹介を含めた共通のコミュニケーションの開始に向けた準備を行うことができたのは、サーキュラーエコノミーへの転換に向けた着実な第一歩といえると思います。

3. 今後の方向性・花業界に期待すること

本年6月に閣議決定された国の「第6次環境基本計画」や、それを受けて今夏施行予定の「第五次循環型社会形成推進計画」にもカーボンニュートラル、生物多様性の保全と併せて、「サーキュラーエコノミー（循環経済）」へ移行し、循環型社会を形成することは国家戦略であると明確に位置付けられました。

また、将来にわたって質の高い生活をもたらす・地上資源基調の「ウェルビーイング/高い生活の質」の実現を目指す「新たな成長」としてが方向性として示されました。

人類の活動が地球の限界を超えつつあり、2030年ごろまでの選択が、数千年先まで影響を及ぼす「勝負の10年」になると言われている今、自然の恵みに依存する花業界の事業の持続可能性のためにも、システムの大きな変革が必要となると考えます。

上記国の目標にも沿う形で、令和6年度以降の目標として、花業界の環境負荷をサプライチェーン全体で把握し、地下資源依存から地上資源基調のシステムへの転換を目指していけるよう、科学的根拠にもとづくスピードとスケールの確保を期待します。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆カムフル社報告書より（抜粋）

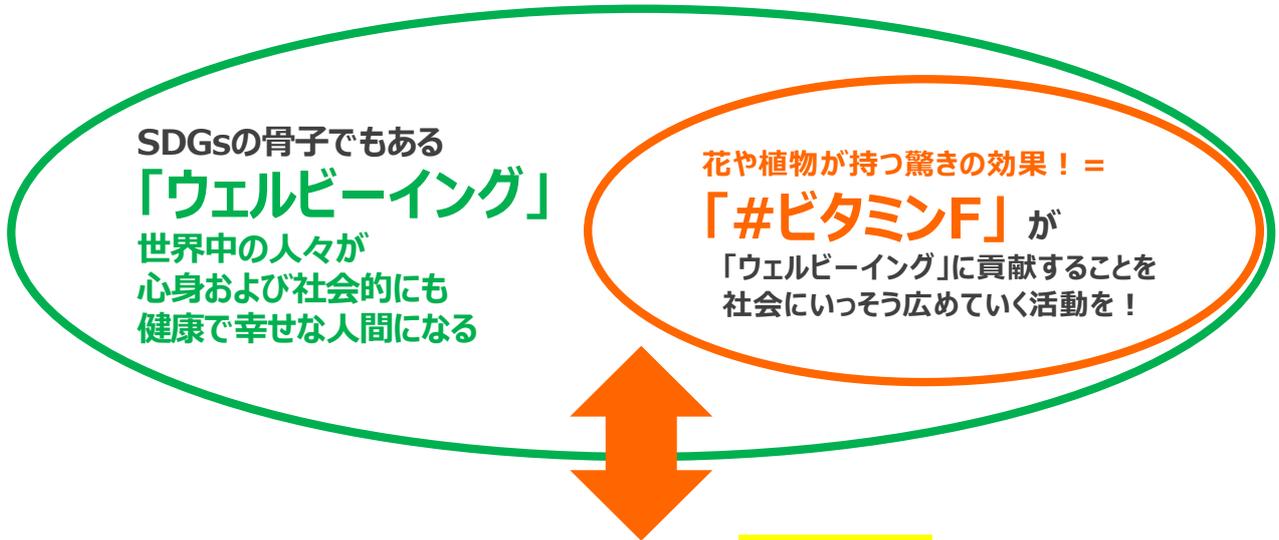
【令和5年度振り返り・考察】（続き）

生活者にわたってしまったプラスチックなどの包材を回収してリサイクルする方策も必要ですが、何よりも製造者・販売者の責任としてサーキュラーデザイン（環境配慮設計）に取り組むことが大事です。

国や自治体、異業種との連携も検討しながら、バックカスティング思考で目標設定し、お客様とともに取組を波及拡大していくことを応援しています。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆「#ビタミンF」を社会に広める活動へ



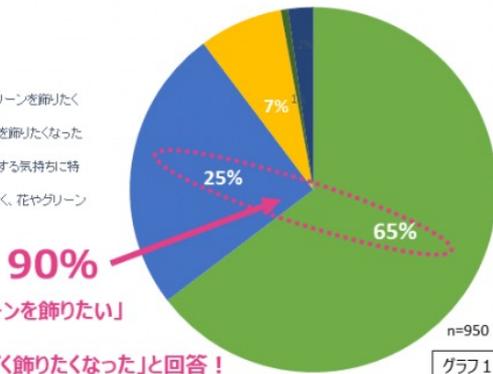
**花や植物のチカラ、未体験の人へどう伝えるか、
幸せ体験を創出する方法を編み出せるか、が活動の鍵**

◆背景：コロナ禍、生活者は花やグリーンを希求

花や植物が持つ驚きの効果！
「#ビタミンF」プロモーションへ

Q. (新型コロナウイルス感染予防のため) ご自宅で過ごす時間が長くなって以降、「花やグリーンを飾りたい」という心境になりましたか？ご自身の気持ちに近い項目を選んでください。(単一回答)

- 以前に比べ、ものすごく花やグリーンを飾りたくなった
- 以前に比べ、やや花やグリーンを飾りたくなった
- 以前に比べ、花やグリーンに対する気持ちに特に変化はない
- 以前に比べ、気持ちの余裕がなく、花やグリーンに意識が向かない
- その他



9割の人が「花やグリーンを飾りたい」気持ちが増している。

65%の人が「ものすごく飾りたくなった」と回答！

n=950
グラフ1



花の国日本協議会実施アンケート結果より (n = 950名)
アンケート回答期間：2020年4月22日(水)～5月7日(木)

このとき、花をなりわいとする人たちが共感、
今こそ花のチカラを伝えよう！！



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 9/20配信

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000019.000054763.html>

NEWS RELEASE



報道関係者各位

2023年9月20日
一般社団法人 花の国日本協議会

SDGs週間イベント「HAPPY EARTH FESTA2023」に初参加
サステナブルに生産される「MPS認証の花」と共に
花から元気とハッピーをもらえる
「#ビタミンF ワークショップ」を開催

<https://happyearth.jp/event/hef2023/>

幸せな未来に向けて「私にもできるSDGs」を集めた
「HAPPY EARTH STATION」(ITOCHU SDGs STUDIO)で9/23に実施



一般社団法人花の国日本協議会（東京都港区・理事長 井上英明）は、「サステナブル」と「ウェルビーイング」を軸に「花業界の環境アクション」を業界内外に広めていく活動を2023年度より本格化しています。活動の一環として、9月19日より始まるSDGs推進イベント「HAPPY EARTH FESTA2023 | GLOBAL GOALS WEEK」（東京大会／HAPPY EARTH実行委員会・実行委員長：小川孔一）に参画、会期中の会場「HAPPY EARTH STATION」にて、環境に配慮しサステナブルに生産される「MPS認証の花」を紹介しながら、9月23日には花から元気とハッピーをもらう体験を促す「#ビタミンF ワークショップ」を開催します。

実際に花を飾ったり贈ったりすることを通じて、元気をもらったり、日々の暮らしや大切な人と過ごす時間が豊かになる、花やグリーンのある暮らしの効果効用を「#ビタミンF（FはFlowerのF）」というワードで発信し、花やグリーンがウェルビーイングに大きく寄与することを伝えていきます。また、身近なものがフラワーベースとしてリユース&アップサイクルできる事例として、今回は「牛乳パック」でオリジナルのフラワーベースを作ります。今後、様々な異業種企業と積極的にコラボレーションしながら「#ビタミンF」を社会に広め、幸福な未来創造に花業界も貢献していきます。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 9/20配信 (続き)

NEWS RELEASE



◆「MPS認証の花」を使った会場装花

9月19日(火)国連大学で開催されたオープニングセッションの会場ステージを、HAPPY EARTH®のテーマカラーである「幸せの黄色」の花々でナチュラルに演出。
(画像は、9月19日国連大会場の装花の一部)

SDGs週間にちなんで、環境に配慮してサステナブルに生産される「MPS認証の花」(※1)をメインに使用。さらに、装花をより長く楽しむために会場を移して同じ装花を展示、本イベントの主旨に沿った設計、デザインを行っています。

- 展示期間： 9月20日(水)～24日(日) 11:00-18:00
- 展示場所： ITOCHU SDGs STUDIO
(東京都港区北青山2-3-1 Itochu Garden B1F)
- 制作協力： 青山フラワーマーケット ANNEX



◆ワークショップの開催

牛乳パックをアップサイクルして花を飾ろう！
「#ビタミンFワークショップ」

花から元気とハッピーをもらえる、#ビタミンF(※2)ワークショップ。牛乳パックを利用してオリジナルフラワーベースを作り、環境に配慮してサステナブルに生産されている「MPS認証の花」を思い思いに飾り、ご自宅で花のある暮らしのハッピーを体感していただけます。

- 日時： 9月23日(土) 11:00～18:00(随時)
- 会場： ITOCHU SDGs STUDIO (住所は上記)
- 参加費： 無料(予約者優先・当日参加も可能)
- 対象： 小学生以上(大人同伴であれば未就学児も)
- 申し込み： (Peatixからご予約ください)

<https://happyearth.jp/event/hef2023/hananokuni/>

運営：国産花き需要拡大推進協議会 | 一般社団法人花の国日本協議会
協力：MPSジャパン株式会社、カムフル株式会社

(※1)「MPS認証の花」とは
MPSとは、人にも環境にも配慮した花き認証システムです。危険な農薬を使用せず、環境負荷の低減に取り組んでいることを国際認証機関「MPS」より証明された生産者が作った花のことです。

(※2)「#ビタミンF」とは
「花やグリーンを持つ驚きの効果」を「#ビタミンF」(FはFlowerのF)と称し、2020年より花業界から発信。
公式サイト「はじめて花屋」 <https://hajimetehanaya.jp/vitaminf/>



ワークショップで制作するアレンジ(※イメージ)



《 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 》
一般社団法人花の国日本協議会 | 国産花き需要拡大推進協議会
Mail: info@hananokuni.jp (担当：小川・新井)

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 9/20配信 (続き)

国際女性デーのパートナー
「HAPPY WOMAN 実行委員会」の
もうひとつの活動「HAPPY EARTH」

NEWS RELEASE



◆「MPS認証の花」生産地の紹介

(品目/産地名(所在地) / @Instagramアカウント)

<会場装花>

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ■ヒマワリ/ヤマキ花卉園(千葉県) | @yamaki_sunflower |
| ■アジサイ/青木園芸(千葉県) | @aokiengi |
| ■ユリ/エフ・エフ・ヒライデ(栃木県) | @f.f.hiraide |
| ■タラスピ/折原園芸(千葉県) | @oriara10 |

<#ビタミンF ワークショップ>

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ■ヒマワリ/ヤマキ花卉園(千葉県) | @yamaki_sunflower |
| ■マム/ジャパンフラワードリーム(愛知県) | @mum.university |
| ■カスミンソウ、草花系/菅家博昭(福島県) | @hiroakikanke |
| ■タラスピ/折原園芸(千葉県) | @oriara10 |



会場に掲出する、MPS認証生産者紹介パネル

◇HAPPY EARTH FESTA 2023 「HAPPY EARTH STATION」について

HAPPY EARTH実行委員会(実行委員長:小川孔一)は、毎年9月末の国連総会の会期に合わせたSDGs週間(GLOBAL GOALS WEEK)に開催するサステナビリティ推進イベント『HAPPY EARTH FESTA 2023』を開催。幸せな未来に向けて「私にもできるSDGs」をテーマに、「HAPPY EARTH STATION」をITOCHU SDGs STUDIOに9月20日から24日まで設置。

サステナブルな取組みを知って行動する場としてサステナビリティを体現する企業の活動紹介展示やワークショップなどを展開します。

【SDGs週間】HAPPY EARTH FESTA 2023 |
GLOBAL GOALS WEEK
「HAPPY EARTH STATION | ハッピーアースステーション」

- 期間: 9月20日(水)~24日(日) 11:00~18:00
 - 会場: ITOCHU SDGs STUDIO
(東京都港区北青山2-3-1 Itochu Garden B1F)
 - 料金: 入場無料
 - 主催: HAPPY EARTH実行委員会
- <https://happyearth.jp/event/hef2023/station2023/>



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆HAPPY EARTH FESTA 2023

9月19日(火) @国連大学

オープニングセッション・アンバサダー就任式会場の装花
※メディア取材多数



9月20日(水) ~24日(日)
@ITOCHU SDGs STUDIO (青山)

「HAPPY EARTH STATION」会場入口装花にそのまま活用



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆HAPPY EARTH FESTA 2023 (続き)

9月23日 (土・祝) @ITOCU SDGs STUDIO (青山)

森永乳業、伊藤園、ユニリーバなど企業の環境取り組み展示コーナー、エシカル商品マルシェ横スペース

【東京ワークショップ】牛乳パックをアップサイクルして花を飾ろう！「#ビタミンF」ワークショップ

HAPPY EARTH FESTA 2023, ワークショップ, 東京 GLOBAL GOALS WEEK, HAPPY EARTH FESTA 2023, SDGs, SDGs週間, イベント



【SDGs週間】HAPPY EARTH FESTA 2023 | GLOBAL GOALS WEEK

お花から元気とHAPPYをもらえるワークショップ

花から元気とハッピーをもらえる(=#ビタミンF)ワークショップ。
牛乳パックを利用してオリジナルフラワーベースを作り、環境に配慮して生産されているMPSの花を飾りましょう。

ワークショップの目的：

身近なものがフラワーベースとして活用できることを伝え(リユース&アップサイクル)、実際に花を飾ったり贈ったりすることを通じて、花から元気をもらったり、日々の暮らしや大切な人との時間がHAPPYになる実体験をしてもらう(=#ビタミンF~ウェルビーイング)

40名の応募は即埋まる

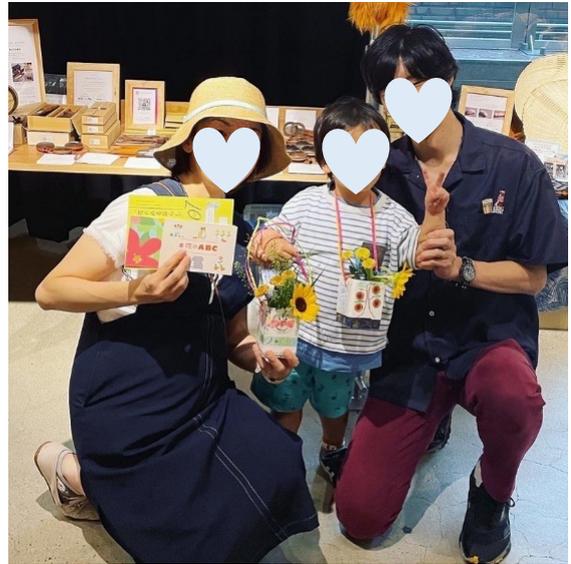
当日は小雨の天候のせいもあり**30名が体験**
親子連れがメイン、大人単独参加もあり

森永乳業様提供の牛乳パック使用、
「MPS認証の花」の紹介もあわせて行う



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆HAPPY EARTH FESTA 2023 (続き)



MPSの花に関心を持つママと娘



ワークショップに参加のファミリーたち
お子さまは男女半々くらい

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆HAPPY EARTH FESTA 2023（続き）

●青山学院大学を中心とした学生たち（Z世代）の活動紹介



◆メディア掲載事例

2024/10/15
花卉園芸新聞

＜ 1 ＞ 第1850号 (1日・15日発行、昭和35年5月15日第三種郵便物認可)

SDGs 推進へ花も

MPS認証をとった花々で装花

MPS認証を紹介するパネル

SDGsの推進に貢献する花の生産者や消費者の活動を紹介します。会場では、サステナビリティを体現する企業やブランド・草花系、ジャパニーズの紹介も予定されています。

会場では、サステナビリティを体現する企業やブランド・草花系、ジャパニーズの紹介も予定されています。

花の国日本協議会 MPS 認証の花 PR

「私どもは、愛知のママ、ヤマキ、応募もなく完売。今ほどに大きき寄与することを「私どもも花の国（千巻）のヒマワリで一般の人が環境に配慮 伝え、「#ヒマワリMPS」を「幸せな未来」を「一人気のキッズパーク」に「サステナブルに生産されるMPSの花を知る機会、手にする機会がなか、幸福な未来創造に貢献する花で装花 寄ると初日から幅広いが、こういう場で知る花業界へと進む力を得ていきた」と花の国日本協議会・小川典子氏。

「私どもは、愛知のママ、ヤマキ、応募もなく完売。今ほどに大きき寄与することを「私どもも花の国（千巻）のヒマワリで一般の人が環境に配慮 伝え、「#ヒマワリMPS」を「幸せな未来」を「一人気のキッズパーク」に「サステナブルに生産されるMPSの花を知る機会、手にする機会がなか、幸福な未来創造に貢献する花で装花 寄ると初日から幅広いが、こういう場で知る花業界へと進む力を得ていきた」と花の国日本協議会・小川典子氏。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆花の効果効用研究リスト (十川雅子氏調べ)

No.	タイトル	出典	日付	概要	リンク	補足
1	心・体・性のウェルネスメディア yoi 「緑や花の癒やし効果も科学的に証明!」 ストレステキアに有効な「自然セラピー」とは?	千葉大学 環境健康フィールド科学センターグランドフェロー 一人気准教授 室崎良文先生、千葉大学環境健康フィールド科学センター自然セラピープロジェクト 特任助教池井晴美先生へのインタビュー記事	2022.09.25	自然に触れるとストレスが、リラックスになる。自然は大きな自然でなくても、身の回りの小さな自然、たとえば花一輪などでもよい。	https://yoi.shueisha.co.jp/body/mentalhealth/3526/	おもに本リスト「No.6」(2013年)などの研究結果をもとに語られていると思えます。▼参考:「同次「自然セラピープロジェクト」HP http://www.fc.chiba-u.jp/research/naturetherapy/
2	新型コロナウイルス感染症によるロックダウン中に、花とその色どのようにして個人の生理的および心理的状態を促進できるのでしょうか? How Can Flowers and Their Colors Promote Individuals' Physiological and Psychological States during the COVID-19 Lockdown?	Int J Environ Res Public Health. 2021 Oct; 18(19): 10258.	2021年	この研究では、白、赤、黄色の花の色が個人の心理的および生理学的幸福にどのような影響を与えるかを調査しました。実験はオフィスのような環境で50人の参加者が参加して実施されました。参加者はそれぞれの花の色を3分間観察しました。生理学的反応を評価するために脳波 (EEG)、心拍変動、皮膚伝導率を測定するとともに、心理的反応を評価するために意味的豊満感 (SD) と気分状態プロフィール (POMS) の両方を測定しました。脳波検査では、前頭部におけるアルファ相対パワーの増加は、黄色と赤色の花を見た場合と、白い花を見た場合に有意に高かったことが示されました。さらに、心拍数の変動は、黄色と赤色の花を見ると前交感神経活動が大幅に増加することが明らかになりました。黄色と赤色の花を見た後、POMS アンケートの各下位尺度の平均結果が向上しました。活力 (V) サブスケールと全体的な気分ステータス値が大幅に改善されました。SD法の結果から、黄色や赤色の花を見ると、白い花を見るよりもリラックス感、陽気さ、安らぎ感が有意に高いことが分かりました。	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC8507279/	How Can Flowers and Their Colors Promote Individuals' Physiological and Psychological States during the COVID-19 Lockdown? Junfang Xia,1 Binyi Liu,1 and Mohamed Elsaddek,1,2* Paul B. Thounouy, Academic Editor, Massimiliano Scopelliti, Academic Editor, and Ferdinando Fornara, Academic Editor
3	香りの良いサクラソウの花が女子大生の生理と心理に与える影響:実証研究	四川農業大学造園学部、成都市、中国 ORIGINAL RESEARCH article Front. Psychol. 23 February 2021 Sec. Environmental Psychology Volume 12 - 2021 https://doi.org/10.3389/fpsyg.2021.607876	2021年2月23日	屋内植物は、日常生活の身体的および精神的健康に良い影響を与えることができます。ただし、植物が芳しい香りを出しては、屋内植物を鑑賞する利点がさらに高まる可能性があります。このクロスオーバーデザイン研究では、50人の女子大生を対象に、香りのよいプリムラ植物と香りのないプリムラ植物の生理学的および心理的効果を実験し、香りの効果がこのグループに相対的な効果をもたらすかどうかを調査しました。無香料のPrimula malacoides Franchを対照薬として使用し、花の香りを持つPrimula foebalis Franchを実験薬として使用しました。血圧、脈拍数、脳波 (EEG) を測定して生理学的反応を評価し、気分状態プロフィールと意味的豊満感 (SD) を使用して心理的状態を評価しました。どちらの条件でも実験後、平均血圧と脈拍数が大幅に減少することがわかりました。脳波検査では、高アルファ波、高ベータ波、徐脈スコアの平均値が実験条件と対照条件で有意に高かったことが示されました。心理アンケートの各下位尺度の平均スコアは、両方の条件で実験後に改善し、活力 (V) 下位尺度および感情状態の合計スコアは、実験条件と対照条件の方が有意に優れていました。SD法の結果は、実験条件と対照条件の方がリラックス感と快適さが大幅に高いことを示しました。無香料のプリムラと比較して、香りのよいプリムラは比較的良好な生理学的および心理的効果を示しました。	https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fpsyg.2021.607876/full	Effect of Fragrant Primula Flowers on Physiology and Psychology in Female College Students: An Empirical Study
4	(研究成果) 花の観察は心身のストレスを緩和する	農研機構 発表論文 Viewing a flower image provides automatic recovery effects after psychological stress. Mochizuki-Kawai H, Matsuda I, Mochizuki S. Journal of Environmental Psychology (2020) https://doi.org/10.1016/j.jenvp.2020.101445	2020年7月1日	農研機構は、花の観察が人間の活動に影響を与え、心身の、生理的に生じたストレス反応を緩和させることを明らかにしました。ストレスを伴った実験参加者の花の画像を提示すると、ネガティブな活動が減少し、ストレスにさらした昇った血圧や心拍数の値が低下しました。本成果により「花の癒やし効果」が心理的、生理的、脳科学的に実証されました。	%E3%81%9F%E3%80%82	Data shows that viewing a flower promotes recovery from the psychological stress Updated: July 1, 2020 (Wednesday) https://www.naro.go.jp/english/topics/laboratory/vegetes/135529.html
5	フラワーアレンジメントが脳機能障害者の記憶力向上に効果	農研機構 茨城県立医療大	2018年12月18日	農研機構と茨城県立医療大は、事故や脳卒中などで認知機能に障害を負った高次脳機能障害者の方々がフラワーアレンジメントを利用した認知機能の訓練(SFAプログラム2))を実施すると、記憶力が向上し、その効果が3ヵ月間保たれることを明らかにしました。高次脳機能障害者の認知リハビリテーションへの活用が期待できます。	https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/labornet/nyfs/120587.html	発表論文 Mochizuki-Kawai H, Kotani I, Mochizuki S, Yamakawa Y. (2018) Structured Floral Arrangement Program Benefits in Patients with Neurocognitive Disorder, Frontiers in Psychology, 9, 1328, 10.3389/fpsyg.2018.01328.
6	バラ生花の視覚刺激もたらす生理的リラックス効果—高校生を対象として—	日本生理人類学会誌 18(3) 97-103 2013 DOI: https://doi.org/10.20718/jpa.18.3_97 千葉大学 環境健康フィールド科学センター池井晴美、李宙雲、宋チョロン、小松実紗子、日蓮恵利、宮崎良文	2013年	本研究は、高校生55名を対象に、ピンクのバラがもたらす生理的リラックス効果を明らかにすることを目的としました。対象は、30本の無香料のピンクのバラを生花に生け、対照では4分間花が咲きませんでした。生理学的指標は指先連続型脈波計を用いた心拍変動と脈拍数であり、心理指標はSD法と気分状態プロフィール(POMS)の短縮版であった。その結果、(1)生のバラの花を鑑賞すると、HFが有意に高く、LF/HFが有意に低かった。(2)「快速」「自然」「リラックス」した感情と気分状態が有意に改善された。	https://cir.nii.ac.jp/oid/1390282679433262624	
7	医療従事者がバラの花を鑑賞することによる生理学的および心理的リラックス効果	日本生理人類学会誌 18(1) 1-7 2013 DOI: https://doi.org/10.20718/jpa.18.1_1 千葉大学 環境健康フィールド科学センター小松実紗子、松永慶子、李宙雲、池井晴美、宋チョロン、日蓮恵利、宮崎良文	2013年	バラの花を鑑賞することによる医療スタッフへの生理学的影響を調査し、心拍数の変動、脈拍数、アンケートの回答を調査しました。被験者は女性医療スタッフ15名で、生のバラの花を4分間観察した。30本の無香料のピンクのバラ(ローヤ、デューラ)を円筒形のガラスの花瓶に生け、対照にはバラを入れません。生理学的測定は、被験者と対照(花なし)の提示中に記録されました。その結果、(1)HFが有意に高くなり、LF/HFが有意に低かった。(2)「快速」「リラックス」した感情と気分状態が有意に改善し、状態不安が有意に低下した。	https://cir.nii.ac.jp/oid/139028267943323712#link=8	
8	地域在住の中高年成人に対するフラワーアレンジメントの介入効果—心電図の変化と唾液コルチゾール濃度に着目して— The effect of Flower Arrangement for the elderly and middle age adults. — Change of Mood and Salivary Cortisol —	佛教大保健医療技術学部論議 第6号 (2012年3月) 井 はる奈 白井 桂一 広崎 真弓 大平 哲也 望月 聡 武山 直義 松林 潤山 賢	2012年3月	地域在住の健康な中高年成人20名に対してフラワーアレンジメントを行い、自記式アンケート(フェイススケール、気分シート)を使用し心理的状態の変化を捉え、また唾液中のコルチゾール濃度を計測し、客観的なストレスの変化について検討した。結果、フェイススケールおよび気分シートの「気持ちよくなる」「高ぶしい」「自信がもてる」「誇りに思う」などの項目において、介入の前後に統計的な有意差がみられなかった。唾液中のコルチゾール濃度においても、介入の前後に統計的な有意差がみられ、フラワーアレンジメントによりストレスが緩和することが明らかになった。	https://archives.bukkyo-u.ac.jp/rp-contents/HO/0006/H0000601.011.pdf	
9	フラワー・アレンジメント活動による身体障害者療養施設入居者の生活の質(QOL)の向上について	2005年9月22日受付、2006年2月28日受理。人間・植物関係学会雑誌5(2):31-37, 2006.短報 森谷都子(甲子園短期大学家政学科)	2006年	7年にわたる身体障害者療養施設の入居者にフラワーアレンジメントをボランティア指導した結果、フラワーアレンジメントが障害を持つ人々に良い影響を客観的に評価できることを見出したので報告する。	https://www.isppr.jp/academic_joumal/pdf/Vol.5_No.2_P31-37.pdf	
10	ポジティブな感情への環境アプローチ:花 An Environmental Approach to Positive Emotion: Flowers.	Haviland-Jones, J., Rosario, H. H., Wilson, P., & McGuire, T. R. (2005). An Environmental Approach to Positive Emotion: Flowers. Evolutionary Psychology, 3, 104-132.	2005年	3つの異なる研究で、私たちは花が強力なポジティブな感情「誘発剤」であることを示しました。研究1では、女性に花を贈ると、常にデュシェンヌまたは本当の笑顔を引き起こしました。花を受け取った女性は、3日後に気分がより前向きになったと報告しました。研究2では、エレベーター内で男性または女性に贈られた花は、他の刺激よりもポジティブな社会的行動を誘発しました。研究3では、高齢の参加者(55歳以上)に花を贈ると、ポジティブな気分の報告が誘発され、エイゼンドリックが改善されました。花は、男性と女性の両方の感情的反応、気分、社会的行動、さらには記憶に即時および長期的な影響を及ぼします。この研究においても、これらの発見を説明する一部の理論はほとんどありません。他の植物がさまざまな種でさまざまな行動反応を誘発し、植物の分散や繁殖につながるように進化してきたのと同じように、栽培された花にも価値があるのではないかと考えられます。(PsychINFO データベースレコード (c) 2016 APA、無断複製、転載を禁じます)	https://psycnet.apa.org/record/2006-23138-009	関連記事: VOGUE JAPAN「花がもたらす幸せ効果とは?」2020年6月3日 https://www.vogue.co.jp/lifestyle/article/usvogue-flower-power
11	令和2年度花きの新需要開拓につながるビジネスモデル事業化可能性調査委託事業 農林水産省「花や緑の効用・家庭とオフィスへの導入状況に関する調査報告書」	農林水産省	2021年(令和3年)	p.21 2-2-2.花や緑の効用p.67 2-4-2.贈答の効果 p.84 3-2-2.オフィスにおける、花や緑の効用	https://www.maff.go.jp/j/seisan/baki/flower/1_R2itak_u/attach/pdf/R2itaku-2.pdf https://www.maff.go.jp/j/seisan/baki/flower/1_R2itak_u/R2itaku.html	
12	花の癒し効果って本当なの?	千葉大学 環境健康フィールド科学センター(自然セラピープロジェクト)	公開時期不明	農林水産省HP掲載	https://www.maff.go.jp/j/seisan/baki/flower/1_kouyou/pdf/23_1aelllet.pdf	
13	花のチカラ 緑のチカラ	一般社団法人フラワーアーティスト協会	公開時期不明	農林水産省HP掲載	https://www.maff.go.jp/j/seisan/baki/flower/pdf/27_1aelllet.pdf	

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆花の効果効用研究リスト（十川雅子氏調べ）

（抜粋・まとめ）

「#ビタミンF」花のもたらす効果についての参考資料

R5年度 国産花き需要拡大推進協議会
Well-Blooming PROJECT

研究・調査によって報告されている花の効果のなかからピックアップ

①癒やし効果がある

花を見ることで.....

- リラックス効果が生まれる ●ポジティブな感情が生じる
- イライラなどが軽減される ●疲れを癒やす etc.

下記、農研機構が筑波大学等との共同研究より抜粋。

「実験参加者に不快な画像を見せて心的ストレスを負荷し、その後、花の画像を見せたところ、不快な画像によって生じたネガティブな情動(恐怖や嫌悪感)が減少してポジティブに転じました。さらに、上昇していた血圧は3.4%低下し、その低下幅は花以外の画像を見せた時に比べて有意に大きなものでした。また、ストレスによって上昇するホルモンの値は花の画像によって21%低下することが確認されました。実験参加者の脳活動を解析した結果から、花の画像を見ることによって情動の生起に関わる脳領域(扁桃体)の活動が抑制されることが明らかになりました。実験参加者は「花」という刺激に惹きつけられることで、ストレス源であった不快画像から注意が逸れたと推察されました。その結果、ネガティブな情動を生起させていた扁桃体領域の活動が減少し、身体に生じていたストレス反応(血圧やホルモンの上昇)も緩和したと考えられます。」¹⁾

1) Viewing a flower image provides automatic recovery effects after psychological stress. Mochizuki-Kawai H, Matsuda I, Mochizuki S. Journal of Environmental Psychology (2020)

②幸福度を高める

花を贈られると.....

- 喜びの笑顔になる ●うれしくなる ●気持ちが伝わる etc.

以下、ラトガーズ・ニュージャージー州立大学のジャネット・ハヴィルランド・ジョーンズ教授研究を取り上げた記事と、農水省の調査報告書からの抜粋。

「心理学を専門とするラトガーズ・ニュージャージー州立大学、ジャネット・ハヴィルランド・ジョーンズ教授は、2005年に感情と花の関係性の研究をスタートさせる。この研究の一環として、キャンドル、かご入りのフルーツ、花束という3種類の異なるギフトを過去の研究に携わった総勢147人の女性たちに贈る実験を行った。ギフトを届けた配達人は、実は彼女が雇った観測者で、小包を受け取った人たちの表情を分析し、各アイテムがどのように人の感情を揺るがしたかを紐解いたのだ。このいたってシンプルなサーチは驚きの結果をもたらしたのだと当時のことをジョーンズ教授は回想する。花束を受け取った人々は全員、心理学者が「真の喜びの証」と考えるデュシェンヌ・スマイルを見せたのだ。」²⁾

「①花や緑をもらって「嬉しかった」は9割以上、8割以上が相手への好感度も上昇。②「相手からの感謝、愛情、お祝いの気持ちが伝わった」は65%、「相手が自分を思い出してくれたことがわかった」が46%と、相手を大切に思う気持ちを伝える手段として、花や緑のプレゼントは効果的」⁴⁾ ※一般の被贈答者500人に対する調査結果。⁵⁾

2) An Environmental Approach to Positive Emotion: Flowers. Haviland-Jones, J., Rosario, H. H., Wilson, P., & McGuire, T. R. (2005). An Environmental Approach to Positive Emotion: Flowers. Evolutionary Psychology, 3, 104-132.

3) VOGUE JAPAN 「花がもたらす幸せ効果とは？」2020.6.3 <https://www.vogue.co.jp/lifestyle/article/usvoguer-flower-power>

4)令和2年度花きの新需要開拓につながるビジネスモデル構築「花や緑の効用」-家庭とオフィスへの導入状況に関する調査調査報告書」p.67 2.4-2. 贈答の効果 5)同上,p.7 1.4-1. 消費者調査 (調査A~D)

③ストレスケアに効果的

自然に触れることで.....

- ストレス時に高まる交感神経活動やストレスホルモンが低下 etc.
- 身の回りの“小さな自然”、部屋に花を一輪飾るだけでも効果が!

下記、長年「自然セラピー」を研究してきた千葉大学 環境健康フィールド科学センター グランドフェロー・同大名誉教授 宮崎良文先生、同自然セラピープロジェクト特任助教 池井晴美先生へのインタビュー記事より。

「まずご紹介したいのは、花を見る実験の結果です。高校生やオフィスワーカーなど男女114名がバラの花を4分間眺めたときの自律神経の活動を調べました。すると、リラックス時に高まる副交感神経活動が15.0%亢進し、ストレス時に高まる交感神経活動が16.3%低下するという結果が得られました。次に、森林の中で行なった実験についてです。2005年から2018年までの14年間、全国63カ所の森林で756名を被験者に行なった実験では、都市を15分間歩いたときと比較して、森を15分間歩いた場合、コルチゾールというストレスホルモンの濃度が13.8% 低下することがわかりました。また、副交感神経の活動は72.0%亢進し、リラックス効果が顕著に高まるという結果が得られました」(宮崎先生)⁶⁾

「例えば、“大きい自然”の代表ともいえる、山や森へ行くのがハードルが高ければ、“中くらいの自然”である公園に行ってみてはいかがでしょうか。心地よい気温の春と秋であれば、森林セラピー同様のリラックス効果が得られることがわかっています。もっと身近な“小さい自然”なら、好きな花を部屋に一輪飾るだけでもいいんです。」(宮崎先生)⁷⁾

6) 心・体・性のウェルネスメディア yoi 「緑や花の癒やし効果を科学的に解明！ストレスケアに有効な「自然セラピー」とは」2022.9.25 <https://yoi.shueisha.co.jp/body/mentalhealth/3526/>

④自己肯定感・社会性が向上する

フラワーアレンジメントを作ることで.....

- 参加者同士で花を通じて自然に会話が生まれる
- 気持ちがくつろぎ、自分に自信が持てるように etc.

下記、佛科大学保健医療技術学部論集 第6号 (2012年3月) より抜粋。

「地域在住の健康な中高年成人 20名に対してフラワーアレンジメントを行い、自記式アンケート(フェイススケール、気分シート)を使用し心理面の主観的な変化をとらえ、また唾液中のコルチゾール値を計測し、客観的なストレスの変化について検討した」

「フラワーアレンジメントを行うことで嬉しき、喜びという感情を得た表れであると考えられる。気分シートの結果から、フラワーアレンジメントを行うことで緊張が緩和され、気持ちがくつろぎ、集中でき、活気がわき、陽気な気持ちになり、元気になり、恥ずかしさを感じなくなり、自信が持て、誇りに思い、他人の役に立つ気持ちになり、自分は価値のある人間だと感じるようになることが明らかになった。」

「今回の研究では、4~5名が1つのテーブルを囲んで座る形で行い、適度な雑談をしながらお互いの作品を認め、褒め合いながら作業を行っていた。同じ体験をしながらコミュニケーションを図るという社会的交流も心理面に少なからず影響していると考えられる」⁸⁾

8) 佛科大学保健医療技術学部論集 第6号 (2012年3月) 「地域在住の中高年成人に対するフラワーアレンジメントの介入効果—心理面の変化と唾液中コルチゾール値に着目して— The effect of Flower Arrangement for the elderly and middle age adults. — Change of Mood and Salivary Cortisol—」白井はる奈,白井社一,広崎真弓,大平哲也,望月聡,武山真菜,松林潤,山根寛

そのほか、記憶力が向上する、香りの癒やし効果などの研究結果も報告されており、ますます花の持つ力に期待が高まっています。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆「#ビタミンF」の価値を伝えるメディア 公式note【お花とウェルビーイングのいい関係】を立ち上げ

https://note.com/wellblooming_pj

note

キーワードや作者名で検索

投稿

お花とウェルビーイングのいい関係

#ビタミンF のヒミツ

対談(前編)
LiLiCoさん × 幸福学研究の
前野隆司さん

花を楽しむことが
ウェルビーイングの
向上につながるの
なぜ?

対談(後編)
LiLiCoさん × 幸福学研究の
前野隆司さん

花は、
自分のために
買っても
人に贈っても
幸せ。

野菜を摂るように、
自然に触れよう。

東大・曾我昌史准教授に聞く、
花や自然と、
ウェルビーイングの関係

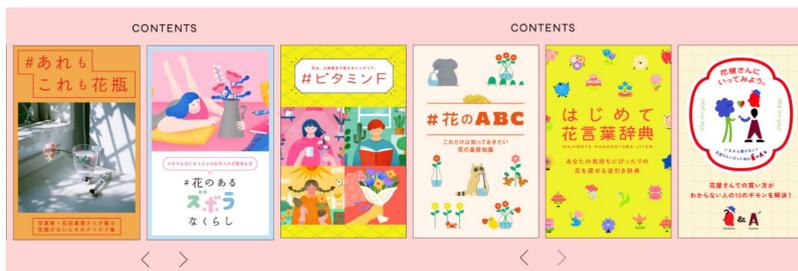
3月28日スタート

お花とウェルビーイングのいい関係

ウェルビーイングと花や植物の関係についてのあれこれを発信する花の国日本協議会の公式noteです。花や植物の驚きの効果 = 「#ビタミンF」(flowerのF)の魅力、科学的観点や実践者の観点で紐解いていきます。



サイト
『はじめて花屋』からもリンク



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 3/28配信

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000024.000054763.html>

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

報道関係者各位

2024年3月28日
一般社団法人 花の国日本協議会

花や植物の驚きの効果＝「#ビタミンF」(flowerのF) の魅力を、
科学的観点や実践者の観点で発信する

公式note「お花とウェルビーイングのいい関係」を立ち上げ

～LiLiCoさん×慶應義塾大学・前野隆司教授による初対談、
東京大学・曾我昌史准教授による花や自然とウェルビーイングの関係を収録～

https://note.com/wellblooming_pj

一般社団法人花の国日本協議会（東京都港区・理事長 井上英明、以下花の国日本協議会）は、花や植物の驚きの効果＝「#ビタミンF」の価値や魅力について、科学的観点や実践者の観点で紐解きながら紹介する公式noteを新たに開設します。これを機に「#ビタミンF」に関する情報発信を本格化します。

昨今、SDGs 意識の高まりにより「サステナブル」と並びその重要性が注目されている「ウェルビーイング（well-being：心、体、社会生活が充足した状態を表す概念）」。コロナ禍、自宅に花や植物を飾る人が急増したことを背景に、人間の心身の健康や快適な暮らしに花や植物も大いに貢献できることを再認識し、その驚きの効果を「#ビタミンF」（造語、flowerのF）と称し、全国の花店を起点に2020年4月より利用し始めました。

人間のメンタルヘルスに良い影響を及ぼす、植物の効果効用について研究した国内外の様々な研究結果や、「ウェルビーイング」を追求している専門家やその実践者の方の体験談などをもとに、花や植物が人間の「ウェルビーイング」に与える好影響を、「#ビタミンF」というキーワードとともに社会に広めていくことを目指します。



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 3/28配信（続き）

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

◆花を楽しむことがウェルビーイングの向上につながるのなぜ？【前編】

◆花は、自分のために買って人も人に贈っても幸せ。【後編】

LiLiCoさん・幸福学研究の前野隆司さん対談

花を部屋に飾ったり、贈りあったりすることで生まれるハッピーな感情に、覚えがある人も多いのでは？
今回、家に花を欠かさず飾っているという花を愛するLiLiCoさんと、日本における幸福学（well-being study）の第一人者である慶應義塾大学大学院教授の前野隆司さんの初対談が実現しました。



プロフィール：

前野隆司さん

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 兼 慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長。2024年4月より武蔵野大学ウェルビーイング学部長を兼任予定。近著に『幸せに働くための30の習慣：社員の幸せを追求すれば、会社の業績は伸びる』（ばる出版）

LiLiCoさん

スウェーデン出身。18歳で単身来日して芸能活動をスタート。タレント、映画コメンテーター、俳優など多方面で活躍。プロレスラーとして7年間活躍していたことも。夫は俳優の小田井涼平。



<対談より一部抜粋>

前野隆司さん

*感謝の気持ちや利他性が芽生え、やる気も出て自己肯定感が高まる。まさに幸福のためのいろいろな要素を花が網羅していると言えます。

LiLiCoさん

- *花は自分のメンタルのバロメーターにもなる。
- *花にはね、理由は知らない。地球が私たちにくれた宝石ですよ。「人間も同じように花を咲かせなさい」って教えるために地球に生まれてきてくれたのかもしれない。



⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 3/28配信（続き）

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

◆野菜を摂るように、自然に触れよう。 東大・曾我昌史准教授に聞く、花や自然とウェルビーイングの関係

花のある暮らし…素敵な生活だけど「忙しくて植物の面倒は見れない」という人も多いはず。が…「自然体験は決して嗜好品じゃなくて必需品。自然を摂取した方が健康に良いんです」そう教えてくれたのは、東京大学准教授・生態学者の曾我昌史さん。自然に触れると、人間にどんないいことがあるのでしょうか。



プロフィール：

曾我昌史さん

1988年東京生まれ。博士（農学）、東京大学大学院農学生命科学研究科 生圏システム学専攻 保全生態学研究室 准教授

<インタビューより一部抜粋>

- * 自己肯定感や、自尊心、QOLと自然体験がリンクしていることがわかってきているんです。
- * 生き物に全く関心を払わない人よりも、関心を払っているいろいろな気づく人の方がリラックス効果が高いという結果が出たんです。
- * 僕はもう、自然体験は野菜と同じようなものだと思うんですよ。野菜を食べる習慣を意識する感じで、自然の“摂取”を習慣づけるのがいいんじゃないでしょうか。



対談・インタビュー

〈企画・編集〉南 麻理江（湯気）
〈インタビュー・テキスト〉清藤 千秋（湯気）
〈撮影〉丹野 雄二
〈協力〉芽inc.、一般社団法人花の国日本協議会

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆PR TIMES ニュースリリース 3/28配信 (続き)

NEWS RELEASE



◇「#ビタミンF」とは <https://hajimetehanaya.jp/vitaminf/>

コロナ禍が始まってすぐ、2020年4月に実施したアンケート調査※によると、「以前に比べ、自宅に花やグリーンを飾りたい気持ちになった」と回答する人が90%に達するという、驚きの結果が出ました。実際、若年層を中心に自宅に花やグリーンを飾る人がとても増えたのです。なぜか？を紐解けば、“植物のちから”に思い至ります。

この“植物のちから”を「#ビタミンF」（造語、flowerのF）と称し、お客様にわかりやすく伝えるツールを開発しました（画像右）。人間のメンタルヘルスに良い影響を及ぼす植物の効果効用について研究した国内外の様々な研究結果をもとに、「フラワー（切り花）」「グリーン（観葉植物）」「ガーデニング（園芸）」「フラワーギフト」の4つをテーマに、それぞれの効果を解説。家で過ごす時間を快適かつ健全に過ごすために、花やグリーンがいかに人間に必要不可欠な存在であるかをご紹介します。

※2020年4月、旬の花モニタープレゼント企画「Stay Home with FLOWERS おうちフラワーで私を元気に！」応募時アンケート/回答者（950名）



◇一般社団法人花の国日本協議会とは

花き業界の有志により編成され、2010年に発足した「フラワーバレンタイン推進委員会」が、2014年10月に一般社団法人花の国日本協議会に発展。2011年にスタートした花贈りを啓発するプロモーション「フラワーバレンタイン」をはじめ、年間を通じ、花き業界および異業種との連携によって、花や緑が身近にある日本人のライフスタイルを実現させるプロモーションを実施。2015年秋より、ホームユースの消費拡大を推進する「WEEKEND FLOWER」企画を全国で本格展開。

現在は、農林水産省「令和5年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」の全国事業の一環で「国産花き需要拡大推進協議会」の事務局を担いながら、ホームユース需要拡大・定着を目指す花初心者向け「#花のABCワークショップ」や、観葉植物を枯らさないノウハウを啓蒙する「GREENS RESCUE」、ウェディングの新しいスタイルを提案する「#花とフォト」を展開。さらに、ジェンダー平等を考える「国際女性デー」や「花業界の環境アクション」「花とウェルビーイング（#ビタミンF）」など、SDGs課題にも積極的に取り組み中。

なお、本活動は花の国日本協議会が事務局をつとめる「国産花き需要拡大推進協議会」にて全国展開、農林水産省 令和5年度持続的生産強化対策事業推進・ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業を活用して進めています。

名称： 一般社団法人 花の国日本協議会 Flowering Japan Council
理事長： 井上 英明（株式会社パーク・コーポレーション 代表取締役）
事務局： 東京都港区南麻布1-6-30 5F

花の国日本協議会公式サイト：<https://hananokuni.jp/>
国産花き需要拡大推進協議会公式サイト：<https://homeuse-hana.jp/>
フラワーバレンタイン公式サイト：<https://www.flower-valentine.com/>
国際女性デー公式サイト：<https://happywoman-flower.com/>
WEEKEND FLOWER公式サイト：<https://weekendflower.jp/>
花初心者向けサイト『はじめて花屋』：<https://hajimetehanaya.jp/>



《 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 》
花の国日本協議会 事務局
Mail: info@hananokuni.jp (担当：小川・新井)

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆若年層が感じる・考える「花の魅力」ワークショッププログラムスタート ～花の魅力とは？その魅力をどのように伝えるか？

花あそ部（花いけジャパン主宰）×渋谷PARCO gaku

3/10（日）13：00–17：00

花あそ部2024 特別講座「ひとりとみんなと、つくるお花見時間」

プログラム

①花いけ（桜のインスタレーション）

GAKUを会場としつつも、大きなガラス越しに渋谷の街を見渡すことができる「渋谷PARCO9階」の共用部も舞台です。そこで、桜の花をいけていくことで、みんなで桜のインスタレーションを制作していきます。どこに、どのように、いけるのか。自分自身の差配で、花の表情や佇まいが大きく変わっていきます。一人一人のそういった実感が集まることで、大きな作品が完成していきます。

②お花見

完成した作品を、みんなで鑑賞します。じっくりよく見る。それは案外とても難しいことです。自分自身で工夫をして花をいけてみると、他の人の工夫がありありと感じられたり、その場の雰囲気はいつもより色濃く感じたりすることができます。制作することと鑑賞することは実は折り重なっていたりもするのですが、いずれにしてもみんなで手を動かして生まれた成果を喜びあいたいと思います。

③ふりかえり

やってみてどうだったか。すぐ言葉にならないことの方が大切だったりするので、言葉にならない想いも含めて、自由に感想を共有したり、次はこういうことをやってみようというアイデアを交わしたいと思います。



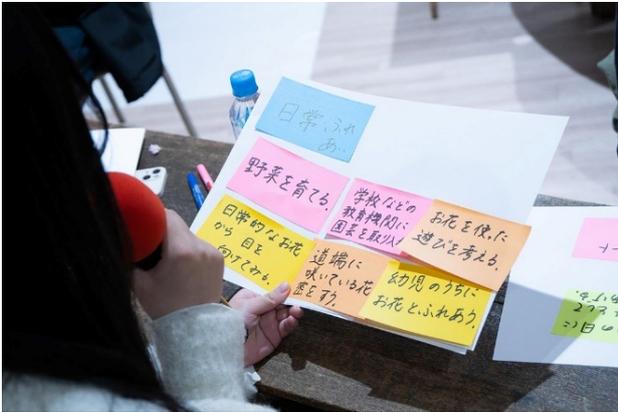
参加者リスト

	普段からやられていることやご関心があること	このワークショップをどのように知りましたか？	今回の授業を通して実現したい事ややってみたくこと
21		GAKUウェブサイトおよびSNS	
18	華道、フルート演奏	GAKUウェブサイトおよびSNS	
17	花いけバトル フラワーの講習参加	GAKUウェブサイトおよびSNS	将来植物に関する仕事に就きたいので、さまざまな経験をしたい
18	高校では華道部に所属し、活動していました。	GAKUウェブサイトおよびSNS	華道などの日本文化を活用し、様々な人との交流を深めたい。
15	プロダクトデザイン・グラフィックデザインなど	GAKUウェブサイトおよびSNS	花の可能性の幅を広げてへんなことをしてみたい
12	歴史、魚をつかまえたり動物に触れ合ったりが好きです	GAKUウェブサイトおよびSNS	
16	お花のグラデーションを見ること	友人知人の紹介	お花を綺麗にいけたい
16		友人知人の紹介	
16	高校の部活動で花生けバトルをやっています	友人知人の紹介	よりお花への理解を深めてそれを普段の練習へ生かしていきたい
19	ファッション	GAKUウェブサイトおよびSNS	花が好きで生け花とかやってみたくです。
16	花生けバトル	友人知人の紹介	正しい花の扱い方を知って上手に花を生けたい
16	花いけに関心があります	友人知人の紹介	花いけの練習です。アドバイスなどを教えていただきたいです
20			
14	英語ミュージカル	GAKUメールニュース	
10		GAKUメールニュース	
16	絵を描いたりしてますファッションなど好きです	GAKUウェブサイトおよびSNS	普段待っていたら絶対に触れることの無いものに触れて自分の頭や心の中を拡張したいそして新しい発見や考え方を得たいそれを他の創作活動に活かしたりしたい
15	花柄を集める	友人知人の紹介	花を生かしたい

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆ワークショップ報告レポート

講師：日向雄一郎（花いけジャパン）



2024.03.10
「花あそ部2024」特別講座『ひとりとみんなと、つくるお花見の時間』



体験を分かち合いつつ、そこから発想してみる
生けた板を囲み、まさに「お花見」をしながらそれぞれの体験を振り返ります。「生ける前と生けられた後で、花の見え方や行まいが全然違うものになってびっくりした」「板はピンク」というイメージだったけど、よく見ると花もそれぞれ少しずつ色が違うし、枝や葉の色も含め、一本の枝に実は様々な色があることに気づいた」と、生徒の皆さん、生けることを通じて、これまで感じられなかった板の姿が浮かび上がってきます。

さらに授業の中では、そういったそれぞれの気づきも持ち寄りつつ、それを日常生活でも感じられたり、他の人と分かち合ったりするための方法について生徒同士で意見を交わし合う時間も設けられました。

「今日のように、お花をじっくり見ることでできる機会を増やしたら、生活がもっと豊かになるんじゃないか。公園には芝生はあるけどお花はあまりないから、いろんな公園に花壇を作って、身近にお花に触れられるようにするのはどうかな」「お花は好きだけど、花屋さんでお花を買うのは少しハードルが高く感じてしまう。自分以外にも、そういう人は多いんじゃないかな」と、生徒の皆さんからは様々な意見が挙がりました。花と人との関係は、人類の歴史と並行するように長く、普遍的なものでもあるように思いますが、花と人との出会い方は、社会の変化に伴い、さまざまなあり方が求められているようにも感じました。



実施レポート掲載：
渋谷パルコgaku 公式サイト &
公式note【お花とウェルビーイングのいい関係】

https://gaku.school/report/hanaasobu2024_01/?fbclid=IwAR3oWW7zpp-GO0T88-7L_WFIsr0O4nE16kTRUFuniowLqIq3OtdvTHuZuuA_agm_AaFEMINuAlBQwsLeCTwOqbmKTddqlrCaT3CeHG43W2sctn4dRMLW69az_euRLpM0AjjWRx7nkeNUXw7YXd-3UM7N

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆花業界の環境アクションを宣言！「ウェルブローミング プロジェクト」



「well-blooming project (ウェルブローミングプロジェクト)」とは、世界中で時代のキーワードとされる「Well-being」(ウェルビーイング＝心身が健康で社会的にも満たされた幸福な状態)と「blooming」(ブローミング＝花が咲く、咲き誇る)を掛け合わせた言葉。自然の恵みを享受している花業界だからこそ、環境問題にもまっすぐ向き合いながら、持続可能、かつ人々の幸せに貢献する存在であり続けたい、という願いをこめて命名しました。

業界内における互いの垣根を越えて、花業界全体、ひいては地球のために皆で学び、共に考えながらチャレンジしていこう！という本プロジェクトは、資材メーカーや運送業などを含むフラワービジネスにまつわるあらゆる業種の方々、さらには花店のお客様一人一人にもご理解・ご協力いただきながら、共に育てていく活動になります。いずれは本プロジェクトが当たり前のこととして定着し、10年後20年後の次世代に誇れる花業界でいられるよう、仲間を増やしながら推進してまいります。

本プロジェクトでは当面、

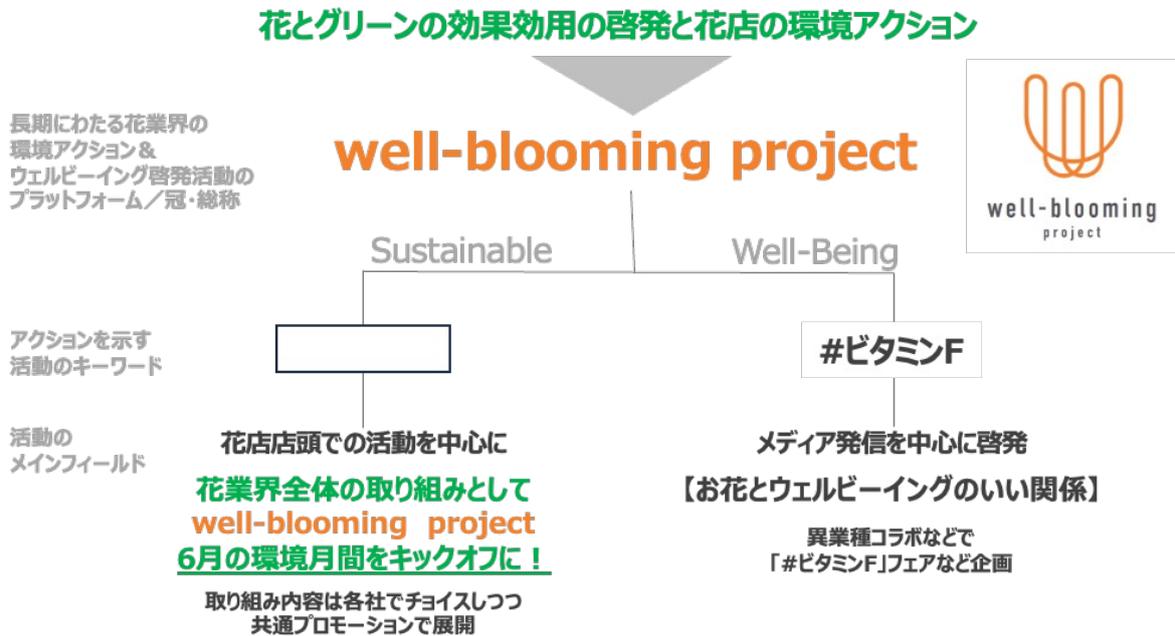
①使い捨てをできるだけせずに、素材の見直しや資源の循環を目指す「環境アクション」

②花や植物がウェルビーイングにどのように寄与するかを探り・伝える「#ビタミンF」

この2大テーマに取り組んでいきたいと考えています。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

◆well-blooming project 活動について



◆R5年度成果物：花業界の環境アクション well-blooming project を促す冊子制作



R6年度
6月環境月間
に向けて

予定：
4/22（世界アースデー）well-blooming project始動ニュースリリース
4/25 14時～ 花業界向けZoom説明会開催

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

well-blooming project 01 環境のこと Sustainable

じゃあ花業界として
どうやって環境に配慮したらよい？
なぜ取り組む？何からは始める？

環境問題が複雑なこと、だとしたら花業界として取り組むことはどこにあるのだろう？
そしてなぜ取り組まないといけないのだろう？
現状から見てきた「なぜ?」「何を?」を考えてみました。

- なぜ?
- プラスチックは現在ごみになっている量が多い!けれどもリユース、リサイクルできる素材であること(一部向かないものもあり)。
 - リユース、リサイクルできれば減り、焼却によって出るCO₂も減り、結果として環境負荷が減る。
 - リユース、リサイクルによって大元となる資源の枯渇を食い止められる。(プラスチック製品の元となっている石油資源は地球が長い年月をかけて生み出したものであり、木材などと同じ短いサイクルで再生できないもの。限りある資源を循環させることが一層肝心となってきます)

何から?

まず取り組みたい
大きな課題は
プラスチックを
減らすこと!

プラスチックを取り巻く「いま」

- 1** **どんどん増え続けるプラスチックの生産量**
このままだと危険
大量生産・高効率型⇒安価なプラスチック製品は生まれて100年程経たずとも、生産量に匹敵するペースで増加し、2050年までに120億トン以上のプラスチックが埋立・自然放棄される。「海洋プラスチックごみ」の量が海に漂う魚を上回る。そしてごみ、海に排出したごみの回収は事実上不可能。取り返しがつかなくなる前に対策が必要。
- 2** **世界のプラスチック消費量増により海洋汚染が深刻化**
現在のプラスチックの世界でのリサイクル率は9%に過ぎず、現状のペースでは、2050年までに120億トン以上のプラスチックが埋立・自然放棄される。「海洋プラスチックごみ」の量が海に漂う魚を上回る。そしてごみ、海に排出したごみの回収は事実上不可能。取り返しがつかなくなる前に対策が必要。
- 3** **日本のごみ最終処分場はあと17年しか保たない、焼却するとCO₂排出**
1999年にはあと3年しか保たないと言われていた産業廃棄物の最終処分場のキャパシティ。その後、循環利用の増加により、2017年にはあと17年に延命された。2022年には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(俗称「プラスチック資源循環法」)が施行され、さらに進んだ対策がとられるようになっていく。一方、消費者の手元で一般のごみとして焼却されるとCO₂が排出され、温暖化の一因に結実してしまうことで資源の使い捨てになってしまう問題となっている。

環境問題の専門家が花業界をサポート!

実はこの「well-blooming project」(ウェルブローミングプロジェクト)の「環境のこと」については、環境のプロフェッショナルの方々を貸してくださっています。

数々の企業や自治体などのSDGs・環境の活動支援に取り組まれている、環境カウンセラーの関根久仁子さんは、環境のプロならではの目標、知識、情報力、経験、ネットワーク、そして環境課題解決への情熱を持った方々に学びながら、花業界もチャレンジしていきたいと考えています。

この先もずっと皆で「きれいな花」を楽しめるよう、花の恵である自然環境の負担になるごみを少しでも削減することが必要です。一歩ずつ、楽しく取り組んでいきましょう。

プラスチックのすべてが悪いというわけではありませんが、できるだけ使い捨てを止めて、何度も使うリユース、リサイクルが推奨されます。資源を循環させることでCO₂削減につながります。まずはできることから少しずつ始めていくことが大事だと思います。



宇山先生の「ちょっとプラ講座」

容器や商品でよく目にする「PE」「PP」「PET」といったアルファベット。プラスチックのことなどはわかるけれど、実際はどんなもの? 主な種類と特徴、用途について、伺いました!

ポリエチレン(PE) 特性: 柔らかい、しなやか 主な用途: レジ袋、容器・タンク、フィルム、ラップ、ストローなど	ポリプロピレン(PP) 特性: 高強度、高耐熱、柔らかい 主な用途: 食品保存容器、プラタンク、繊維など	PET、ポリスチレン (PS) 特性: 硬い、透明 主な用途: PETボトル、コップ、発泡スチロールなど
--	---	---

プラスチックのリサイクルには「同じ材質(単一素材)」の収集が必要なので、これらをきちんと分別することが肝心

well-blooming project 01 環境のこと Sustainable

花業界のプラスチック問題は?
花店、花市場、資材メーカーへのヒアリングで見えてきたこと

環境問題に高い関心を持っている、なんとなくどこかどうにかしたいと思っているなどという声多数。なりたて来客から考える「バックキャスト」という思考で、花業界の「こうありたい姿」を描いていければ。

- すでにアクションを開始している企業も、が課題多く悩ましい現状が浮き彫りに!
- 2023年、花市場、花店、資材メーカーなど20社を訪ねたヒアリング。環境問題に関して高い関心と努力を重ねている様子が伺えました。反面、それでも解決できない課題が多くありました。現状も、まったく手付かずの課題もあり、個々の企業だけでなく、花業界全体で環境問題に取り組む必要性を感じている、という声に多数触れました。



プラスチック周りのことを皆で考えていきたい

2023年11月、2024年2月に開催した「花エコラッピング研究会共創ワークショップ」。環境カウンセラーの関根さんがファシリテーターになり、資材メーカー各社、花店有志約30人が参加。自由な発想で「2027年の花ラッピングはどうなっているよいか?」「何をどうやって解決したらよいか?」などをディスカッションを発表しました。

参考) 花資材サーキュラーデザインの実現に向けたステップ ~花エコラッピング研究会第1回WSより~

花資材サーキュラーデザイン

発生抑制
材料代替
排出抑制

Step 1. 正しい知識、ゆえまで学ぶ
2. やめる・減らす(家庭用)
3. 代替素材を検討(ギフト用)
3. 社会実装から(回収→再資源化)

集積的かつすぐ始められるプラ削減とお客様への啓蒙をムーンショット材料として、業界/サブライフェン全体で取り組む

現場で見聞きした、花業界でごみになっているプラスチック製品



お客様の手で
ごみになるプラスチックの例

一番最初に思えるのは、やはりポリプロピレン(PP)製のプラスチック素材。接着剤はPP製プラスチックに分解する。

え?! 防水性が多分高いけれど、エコラッピング(MEM)は合成紙、いわゆるプラスチックの複合素材で、リサイクルが難しい。

花束やアレンジメントの持ち帰り袋

ラッピングペーパー

セルロース(OPPフィルム)

フロアフォーム(吸水性スポンジ)

アクリルは製造が複雑でリサイクルが難しい素材

アクリルボックスなどケース類

リボン

ビーズ・オーナメントなど

最近、再生ガラス、バイオマス素材や再生プラスチック素材のものも少しずつ出てきている

プラスチック製が主流かつ、複合素材のものが多い

プラスチック素材の花器

ごみの60%は「容器」と「包装」。花屋さんからお客さまに渡るラッピング資材は、「容器包装リサイクル法」の対象アイテムです!

Check!

国々の良い日本において商業物の最終処分場が満ちる中、容器や包装にまつるごみは、「資源」へと変換するために、「容器包装リサイクル法」という法律があります。消費者、自治体、事業者すべての人々が相互に協力・連携し、持続可能な社会を創ります。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション

01 環境のこと Sustainable

環境への対策についてそろそろ何しかなくちゃとは思いつつ、何をどこから始めたらよい...? とモヤモヤしている花屋さんもきっと多いはず。環境対策は常にアップデートされていて理解が追いつかず、さらには環境=コスト増な印象ですが、少しずつできることから取り組みれば大丈夫。well-blooming project からの提案として、まずはじめに取り組みたいのは「お客様の手元でごみになってしまうプラスチック」について。プラスチックを便利にして悪者ではないのだけれど、環境問題の観点に立つと、軽微な量を減らして、使い捨てではなくリユース・リサイクルしやすい素材、ラッピング資材など身近なプラスチック製品を見直しみましょう。☺️☺️☺️を参考に、できそうなことから始めてみて!

3 環境にやさしい選択や行動を して下さったお客さまに インセンティブを

- 「MyTrack」をご持参くださったお客さまや、ギフトでも「ゼロハンなしでOK」など簡易ラッピングを選んでくださったお客さまに、お店からエコポイントを付与する。
- エコポイントの他に、環境保全活動をしている団体へ寄付をするなど、お客さまにも環境アクションにご参加いただく。
- 自宅用の花購入時には「Myペーパー」を持参していただくのもよいかも!

4 環境に配慮して 生産されている花や 地元産の花を販売しよう

プラスチックの使用削減が目標からきている花屋さんには、販売する「花」に注目して「環境に配慮して生産されている」「MPS認証の花」や、輸送距離が短くCO2排出量の削減につながる地元産の花で「産地産地」を推進していきましょう。

まずはやってみよう!

花屋さんの環境アクション

ひとつひとつの花束から変えていく well-blooming な未来へ

1 プラスチック製ラッピング資材・容器を 減らそう・なくそう・見直そう

- ラッピングのゼロハンができる限り探る。
- ホームユースには、紙や自然素材に対応する。
- アレンジや鉢物の花器やリボンのアツクを減らし、自然由来のアイテムに切り替えていく。
- バイオマス素材や再生プラスチック素材のものも積極的に使用する。

2 プラスチック製の資材やラッピングペーパーなど紙類の 分別や処分方法を お客さまに伝えよう

自治体によってごみの分別方法が異なるのが悩ましいですが、いまだ一店、自店や商圏の自治体ホームページや問合せ窓口ごみの分別方法を掲載しているものもいまだ少ないです。捨て方を知らないと分別が難しくなるので、お客様に分別方法を伝えることが大切です。

「フローラルフォーム」の多くは現状、フェノール樹脂というリサイクルが難しいプラスチックでできていて、資源の高リサイクルやマテリアルなど取組んでほとんど使用しないフェノール樹脂に変わる新素材や新しい発想が求められています。

5 地域の花店・花市場と協力して プラスチック資材の回収や リサイクル活動に参加しよう!

ワンウェイのプラスチックが次々と禁止されていく状況下、これら少しづつ、地域の花市場を拠点に、リサイクルのためのゴミやプラスチック資材の回収の取組が実施されています。もし身近でそのような取り組みがあったらぜひ参加していただき、力をあわせて、資源を楽しく循環させる花業界を目指しましょう。

02 #ビタミンF Well-being

#ビタミンFとは?

コロナ禍が始まってすぐ、2020年4月に実施したアンケート調査によると、「以前に比べ、自宅に花やグリーンを飾りたい気持ちになった」と回答する人が90%に達するといふ驚きの結果が出ました。実際、若年層を中心に「自宅に花やグリーンを飾る人がとても増えた」という声や「植物のちから」から「植物のちから」を「ビタミンF」と呼ぶ。お客様にわかりやすく伝えるツールを開発しました(画像右)。人間のメンタルヘルスに良い影響を及ぼす植物の効果効用について研究した国内外の様々な研究結果をもとに、家で過ごす時間を快適かつ健康に通ごうために、花やグリーンがいかんにか人間に必要不可欠な存在であるかを紹介します。

※2020年4月、旬の花をテーマにした企画「Stay Home with FLOWERS おうちフラワーを彩る花を気軽に!」の副産物として制作(画像左)

「フラワー(切り花)」「グリーン(観葉植物)」「ガーデニング(園芸)」がコロナ禍で、おうちで花やグリーンを飾る人が増え、その効果効用が注目されています。

2020年8月に実施!

全国500店のフラワーショップとアーティスト「スキマスイッチ」がコロナ禍、花と音楽のちからで元気な季節を演出するキャンペーンを展開。コロナ禍で世界が暗い雰囲気の中、花と音楽のちからで、心が明るくなり、前向きな気持ちになることを実現できた!とお客様からも参加店からも声を頂きました。これかも「ビタミンF」を体感できる興業種コラボが実現できたと思います!

#ビタミンFの価値を伝えるメディア

note記事 第1弾

note記事 第2弾

「生協生協・曾根島安史さんにお話を伺いました」

野菜を摂るように、自然に触れよう 花や自然とウェルビーイングの関係

「自然体験は決して「趣味」ではなく「必需品」。自然を体験した方が健康に良いんです。そう教えてくれたのは、東京大学准教授・生協生協の曾根島安史さん。自然に触れると、人間にどんないいことがあるのでしょうか。」

一部抜粋

- 自己肯定感や、自尊心、QOLと自然体験がリンクしていることがわかってきているんです。
- 生き物に全く関心のない人よりも、関心を払っている人が、人の心がリフレッシュされるという結果が出ています。
- 僕も、自然体験は野菜と同じようなものだと思っています。人間も同じように花を咲かせたいという教えのために地球に生まれてきたのかもしれない。

⑤花とグリーンの効果効用の啓発と花店の環境アクション



6月の「環境月間」に向けて いっしょに取り組んでくださる仲間を 大・大・大募集中です!

環境月間とは?

6月5日は「世界環境デー」
これを受けて日本では6月の1
カ月間を「環境月間」として全
国各地でさまざまな環境に関
する行事が行われています。

これから、花業界の皆様や、時に異業種の方々と共に、花業界の
“環境アクション”を推進していきます。毎年6月の「環境月間」や9月
の「SDGs週間」をきっかけに、活動の盛り上がりを出していきます。
全国の一店一店の花店様、一社一社の企業様がそれぞれに、毎年
独自の“環境アクション”を宣言・実行し、その成果を年々積み上げ
ながら、花業界全体の大きなムーブメントに育てていきます。

エントリーいただく…(2024年5月中旬～展開予定)

- ダウンロードツールのご提供
 - 店頭用POPの雛形データ ● well-blooming project ロゴデータ申請権など
 - 店頭用ステッカー提供
 - 半期毎の活動レポート共有
 - 国産花き需要拡大推進協議会などの公式サイトに
参加花店名・企業名の掲載
- など、順次充実させます

※受付は随時しております。
ふるってご参加ください!

<https://business.form-mailer.jp/fms/1be60fd236705>



Information

花初心者さん必見! 『はじめて花屋』



#花のABCや #ビタミンFも!

<https://hajimetehanaya.jp/>

特設サイト『はじめて花屋』は、
はじめて花と暮らす人の不安や
疑問を解消するサイトです。「そ
そも花屋さんでどうやって花を
買えばよいの?」の疑問にQ&A
でお答えする「花屋さんについて
みよう。」など、花初心者さんに
ぜひご紹介ください。



WEEKEND FLOWER フラワーレシピ& 書籍『花と器の素敵な合わせ方』



季節の花90種類・約250パターン
の12ヶ月の「フラワーレシピ」を
無料でダウンロードして
いただけます。花のホームユース
提案・旬の花々の販促にお役立て
ください!



おかげさまで
多くのお客
様に届いて
います。

<https://weekendflower.jp/>

農林水産省令和5年度「伝統的生産強化対策事業のうちジャパンプラワー強化プロジェクト推進」

発行制作:国産花き需要拡大推進協議会 監修:協方カムフル株式会社、昇inc.

デザイン:oto イラスト:flowerary 印刷:製本:東京オオト印刷(株) 発行日:2024年3月

【お問い合わせ】国産花き需要拡大推進協議会(事務局:一般社団法人花の国産協議会) info@honokuni.jp

©2024国産花き需要拡大推進協議会 ※本冊子は花業界向けの内容となっております。一般消費者の皆様への閲覧や公開はご容赦ください。



事業運営／（一社）花の国日本協議会事務局

企画・調査・実施・編集／和田幸一、鹿子木慶一、小川典子、十川雅子、新井悦子

農林水産省 令和5年度 持続的生産強化対策事業のうち
ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

**ホームユース需要拡大
パーソナルギフト需要創出
インドアグリーン需要定着
新たなブライダル切り花需要創出
花とグリーンの効果効用の啓発と
花店の環境アクション**

事業実施報告書

2024年3月 国産花き需要拡大推進協議会

発行 国産花き需要拡大推進協議会（一般社団法人花の国日本協議会：事務局）

〒106-8587 東京都港区南麻布1-6-30 5F

TEL：03-6555-3839

<https://homeuse-hana.jp/>

無断複写・複製・転載等をご容赦ください。